



令和5年度  
創造教育開発センター  
年 次 報 告 書

独立行政法人国立高等専門学校機構  
福井工業高等専門学校



## 令和5年度（2023年度） 創造教育開発センター活動のまとめ

令和5年度創造教育開発センター長 米田知晃

### 1. はじめに

本センターは、2007年度（平成19年度）にFD委員会、教育改善委員会等の役割を統合し、発足したセンターである。現在本センターでは、次の項目を業務内容として挙げている。

- (1) 教育改善、FD及び学習支援に関すること。
- (2) 教育課程の調査・検討に関すること。
- (3) メディア教育に関すること。
- (4) 教員間の教育的連携に関すること。
- (5) その他センターの目的達成に必要な業務に関すること。

授業評価アンケートの実施、公開授業週間の実施、FD研修会等の企画も継続的に行っている。

以下に、令和5年度に本センターで取り組んだ事項を説明し、今後の課題なども示す。

### 2. 令和5年度の活動

#### 2-1. 教育改善、FD及び学習支援に関すること。

##### (1) FD講演会及び研修会について

令和5年度に本校で行った主なFD活動（講演会及び研修会の開催、学外FD活動への参加）は次のとおりである。

- ・ 9月13日（水）に、FDワークショップ（教育と研究のバランスの話）を実施した。
- ・ 10月25日（水）11月22日（水）に、FD講演会として教務システム運用説明会を実施した。
- ・ 3月7日（木）に、株式会社リアセックの担当者から「PROGテストの解説」を実施した。
- ・ 3月14日（木）に、FD研修会「WebClass講習会」を実施した。
- ・ 3月15日（水）に、授業方法に関するFDワークショップを実施した。
- ・ 6月7日（水）、7月19日（水）、11月29日（木）に、新任教員研修会を実施した。9月25日（月）はTPチャート作成を行った。

これら以外の教員FDに関する研修会、講習会などに参加する教員への支援も継続的に行っている。

##### (2) 公開授業週間

令和5年度は前期が5月15日（月）～19日（金）、後期が12月15日（金）～21

日（木）の期間で公開授業週間を実施した。前期に参加した教員は 51 名、参加授業数は 65 件、後期に参加した教員は 34 名、参加授業数は 39 件、前期または後期の少なくとも 1 回は公開授業に参加した教員は 56 名（78.9%）であった。

### （3）学習支援について

本センターはこれまで学習支援に関して教員への支援を行ってきたが、昨年度設置された「学習支援室」との関係により、学習支援する教員への支援についてワークショップの実施などを含めて検討中である。

## 2-2. 教育課程の調査・検討に関すること。

### （1）学際カリキュラムの実施

学際カリキュラムへ数理データサイエンスの導入を検討し、令和 6 年度入学生から、平成 30 年度から実施している学際カリキュラムを学際カリキュラム（エンジニアリング・データサイエンスプログラム）に改めた。このプログラムは、学際領域の共通性を持ちながら、数理・データサイエンスの考え方及び実務を学生に身に付けさせ、同時に、様々な分野で数理・データサイエンスが応用できることを学ぶ機会を提供することを目的とした。

### （2）工学倫理および数理データサイエンス・A I 教育プログラムワーキンググループ

「工学倫理」に関するワーキンググループにおいて、実施した授業内容、シラバス等について情報共有および検討を行った。新しい MCC への対応を含めて、情報倫理の導入についても検討している。数理データサイエンス・A I に関するワーキンググループにおいて、エンジニアリング・データサイエンスプログラムでの具体的な実施内容について検討している。

### （3）PROGテストについて

今年度も担任の協力を得て、3 年生、4 年生を対象とした PROG テストを 12 月 4 日（月）、5 日（火）に実施した。また、2 月 1 日（木）、20 日（火）にそれぞれ 4 年生、3 年生を対象とした PROG テストの解説会とワークを、3 月 7 日（木）には、教員を対象とした解説会を行った。

PROG テストの実施は 4 年目となり、教員向け解説会でも、これまでの結果との比較があり、本校学生の特徴が示された。PROG テストの結果を今後の進路指導に活かしていきたい。

### （4）授業アンケート

今年度の授業アンケートは、昨年度後期から実施した Microsoft Forms を利用し、試験前の 14~15 週目に半期科目・通年科目に関わらずすべての開講科目について実施した。前

期は一部のクラスで回答数が少なかったが、後期は十分なアナウンスにより高い回答率を得ることができた。また、後期の授業アンケートについては、集計方法を各科目の結果を表とグラフで閲覧できるように改善した。今後は、アンケート結果をどのようにして授業改善につなげていくのか方法について継続的に検討する。

#### （5）卒業生・修了生アンケート

Microsoft Forms を用いた卒業生・修了生アンケートにより、回収（回答）率が向上した。今後は、アンケート結果をどのようにして教育改善につなげていくのか方法について継続的に検討する。

### 2－3. メディア教育に関すること

#### （1）C B Tの実施

今年度のC B T (Computer Based Testing)は、1年全クラスが数学と化学、2年全クラスが数学、3年全クラスが数学と物理を受験した。さらに専門科目として、3年電気電子工学科が計測を、4年機械工学科が製図、機械設計、力学、熱流体、材料、4年電子情報工学科がソフトウェア、計算機工学、4年物質工学科が有機化学、4年環境都市工学科が建設を受験した。今年度も休みを含む12月18日（月）～1月12日（金）の期間で、各自が受験する方式で実施した。

### 2－4. 教員間の教育的連携に関すること

#### （1）教員間ネットワーク会議

今年度は、教員間ネットワーク会議の見直しを行い、学際カリキュラムの担当者の打合せや、工学倫理のワーキンググループの活動をネットワーク会議と位置付けることにより、年一回の開催から複数回の開催へと内容を充実させつつ、関連する一般科目及び専門科目、あるいは学科をまたぐ学習・教育目標に関連する科目を担当する教員間の連携を機能的に行うための会議として実施した。

## 3. 今後の改善課題など

### 3－1. 教育改善、FD 及び学習支援に関すること

公開授業週間への取り組みを検討する必要がある。教務主事団が作成した「授業点検シート」なども上手く使いながら、授業改善の仕組みを考える。

FD活動については、令和3年度実施した「新任教員勉強会」は、「新任・昇任教員研修会」として継続する。

学習支援については、継続してセンターとしての関わり方を検討する。

### 3-2. 教育課程の調査・検討に関すること

工学倫理が令和4年度から開講されたが、WGは今後も担当者会議として継続的に実施する。数理・データサイエンス・AIに関するWGは次年度も、本校の教育プログラムの充実に向けて検討を継続する。

PROGテストも継続的に実施することを前提として、学生の自己発見・自己啓発および進路指導につなげていくために学内での運用方法について検討したい。

### 3-3. メディア教育に関すること

CBTの実施については、令和5年度から年間の放課後利用が可能となっており、そういった活用状況などを共有し、CBTの有効的な活用方法について検討を進める。BYODについては、大きな問題もなく運用できている。今後は、取り組み事例を集め、各学科での取り組みに活かしていきたい。

### 3-4. 教員間の教育的連携に関すること

教員間ネットワーク会議の在り方も含めて本センターで検討し、継続的に実施している学内WGを学校としての教育改善に繋げる。

# 目 次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| ○ FD活動                | 7  |
| ・創造教育開発センター関連実施行事     | 7  |
| ・福井高専のFD等取り組み概要（本校HP） | 8  |
| ○ 公開授業                | 11 |
| ・公開授業週間およびFDレポートのまとめ  | 11 |
| ○ FD研修会（センター主催）       | 19 |
| ○ 教員間ネットワーク会議         | 43 |
| ○ 各種アンケート             | 45 |

# FD 活動

## 創造教育開発センター開運実施行事【令和5年度】

| 月  | 行事内容   | 備考 | 月   | 行事内容                                     | 備考 |
|----|--|----|-----|--|----|
| 4月 | 令和5年度行事計画等作成                                   |    | 10月 | 第6回センター会議(10/3(火))                       |    |
|    | 第1回運営委員会・センター会議(4/18(火))                       |    |     | FD研修会(第1回教務システム運用説明会)(10/25(水))          |    |
|    | 第1回工学倫理WG(4/3(月))                              |    |     |  |    |
| 5月 | 第2回センター会議(5/24(火))                             |    | 11月 | 第7回センター会議(11/7(火))                       |    |
|    | 前期公開授業週間(5/15(月)～5/19(金))                      |    |     | FD研修会(第2回教務システム運用説明会)(11/22(水))          |    |
|    | 新任・昇任教員研修会(11/29(金))                           |    |     | 新任・昇任教員研修会(11/29(金))                     |    |
| 6月 | 第3回センター会議(6/20(火))                             |    | 12月 | 第8回センター会議(12/5(火))                       |    |
|    | 新任・昇任教員研修会(6/7(水))                             |    |     | 後期公開授業週間(12/15(金)～12/21(木))              |    |
|    | 新任・昇任教員研修会(6/7(水))                             |    |     | PROGテスト(3年:12/4(月)、4年:12/5(火))           |    |
| 7月 | 第4回センター会議(7/11(火))                             |    |     | CBT(1年～4年:12/18(月)～1/12(金))              |    |
|    | 新任・昇任教員研修会(7/19(金))                            |    |     |  |    |
|    | 学生による授業評価アンケート(7/19(水)～7/28(金))                |    |     |  |    |
| 8月 | 第5回センター会議(8/8(火))                              |    | 1月  | 第9回センター会議(1/9(火))                        |    |
|    | 令和4年度創造教育開発センター年次報告書発行                         |    |     | 学生による授業評価アンケート(1/25(木)～2/9(金))           |    |
|    | 卒業生・修了生及び人事担当者対象教育達成度に関するアンケート(8/4(金)～8/31(木)) |    |     | FD研修会(全高専教職員FD著作権セミナー)(1/11(木)～1月26日(金)) |    |
| 9月 | FDワークショップ(教育と研究のバランスの話)(9/13(水))               |    | 2月  | 第10回センター会議(2/6(火))                       |    |
|    | FD研修会(TPチャート作成)(9/25(水)：新任・昇任教員研修会を兼ねる)        |    |     | PROGテスト学生向け解説会(3年:2/20(火)、4年:2/1(木))     |    |
|    | 第2回工学倫理WG(9/28(木))                             |    |     | 教員間ネットワーク会議開催(7会議)                       |    |
|    | FDワークショップ(教育と研究のバランスの話)(9/13(水))               |    |     | 新任・昇任教員研修会(2/16(木))                      |    |
|    | FD研修会(TPチャート作成)(9/25(水)：新任・昇任教員研修会を兼ねる)        |    |     |  |    |
|    | 第3回工学倫理WG(3/21(木))                             |    |     |  |    |

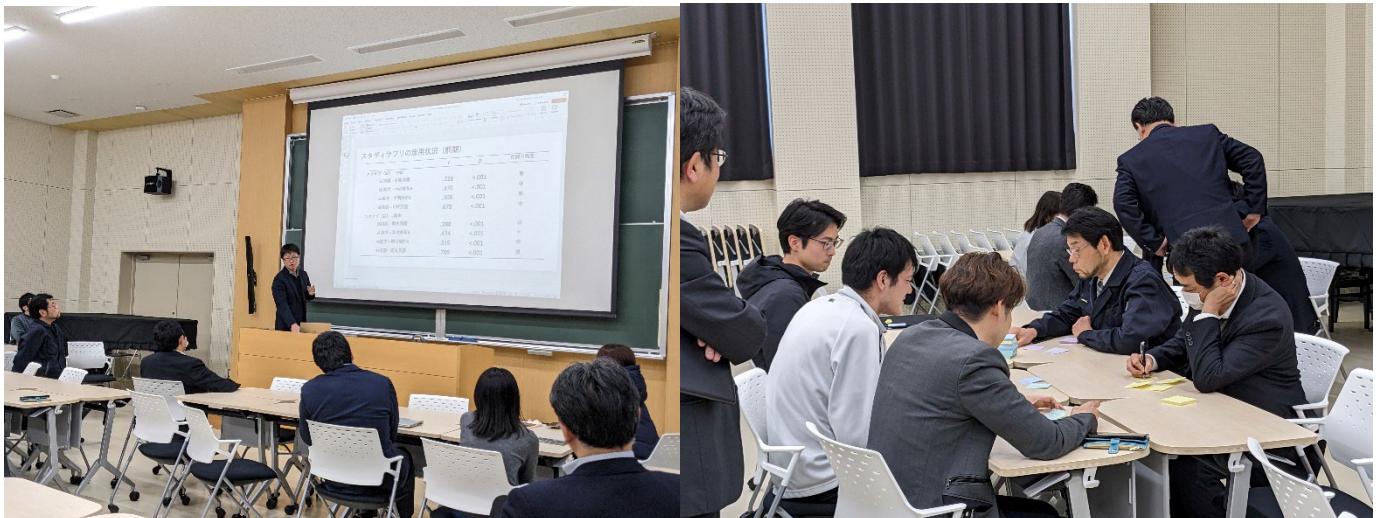
## FD 研修会（教育と研究のバランスの話）を開催しました。

令和5年9月13日（水）にFD研修会（教育と研究のバランスの話）を開催しました。授業に加えて、学生指導や課外活動の指導等に忙殺されて忙しい毎日を送る中で、今までやってきた研究を継続的に行うための工夫について話し合うためにグループ討議を行いました。最後にグループ代表者により発表を行い、教育と研究のバランスについて知恵を出し合う良い機会となりました。



FD研修会（授業方法におけるワークショップ）を開催しました。

令和6年3月15日（金）にFD研修会（授業方法におけるワークショップ）を開催しました。授業の方法や小テストのやり方、試験の実施方法及び学生へのフォローの仕方など様々な面から議論を行い、新学期からの指導に役立てることを目標に、まず、3名の先生が実際に行っている授業方法について紹介しました。その後、参加者を複数のグループに分けてワークショップを行い、授業方法について議論とその内容の発表をすることで、より良い授業方法の在り方について全体で共有する良い機会となりました。



# 公 開 授 業

## 令和5年度「公開授業週間およびFD レポート」のまとめ

創造教育開発センター

### 1 公開授業の目的と公開授業週間

目的：授業参観時間の拡大を図り、他の教員の授業方法等を参考とする機会を増やすことで、各教員の授業改善の参考とする。

前期：令和5年 5月15日（月）～ 5月19日（金）

後期：令和5年12月15日（金）～ 12月21日（木）

### 2 参観教員数

表1 令和5年度前期公開授業週間参観状況

| 学科等名            | 現員数   | 参観者数  | レポート提出数 |
|-----------------|-------|-------|---------|
| 機械工学科           | 8     | 4     | 4       |
| 電気電子工学科         | 10    | 8     | 10      |
| 電子情報工学科         | 8     | 8     | 9       |
| 物質工学科           | 11    | 6     | 11      |
| 環境都市工学科         | 9     | 8     | 9       |
| 一般科目教室（自然科学系）   | 13    | 8     | 10      |
| 一般科目教室（人文社会科学系） | 11    | 9     | 12      |
| 計               | 70    | 51    | 65      |
| 参観率（%）          | 51/70 | 72.9% |         |

表2 令和5年度後期公開授業週間参観状況

| 学科等名            | 現員数   | 参観者数  | レポート提出数 |
|-----------------|-------|-------|---------|
| 機械工学科           | 8     | 1     | 1       |
| 電気電子工学科         | 10    | 4     | 4       |
| 電子情報工学科         | 8     | 4     | 4       |
| 物質工学科           | 11    | 7     | 7       |
| 環境都市工学科         | 9     | 6     | 8       |
| 一般科目教室（自然科学系）   | 13    | 6     | 7       |
| 一般科目教室（人文社会科学系） | 11    | 6     | 8       |
| 計               | 70    | 34    | 39      |
| 参観率（%）          | 34/70 | 48.6% |         |

現員数は短時間勤務教員を除く常勤教員数を掲載。

○ 公開授業週間の参観者率の推移（過去4年間）については、令和2年度後期は新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者率が大幅に減少し約30%であった（前期は公開授業週間を中心）。令和3年度は前後期通して1回以上参観した教員は59.5%で2年前とほぼ同程度の参観者率となり、令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響からか前後期通して1回以上参観

した教員は 52.8% にとどまった。令和 5 年度は前後期通して 1 回以上参観した教員は 78.9% と、平成 30 年度 (75%) と比較して同程度の参加者率となった。理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的となったことが挙げられる。

### 3 参観したクラス

表 3 どの学科・教室の公開授業に参加したか？（前期）

|         |      | 参観した授業（学科・教室・専攻科） |      |      |    |      |    |    |    |     | 合計 |
|---------|------|-------------------|------|------|----|------|----|----|----|-----|----|
|         |      | 機械                | 電気電子 | 電子情報 | 物質 | 環境都市 | 自然 | 人文 | 学際 | 専攻科 |    |
| 参加教員の所属 | 機械   | 4                 |      |      |    |      |    |    |    |     | 4  |
|         | 電気電子 | 2                 | 8    |      |    |      |    |    |    |     | 10 |
|         | 電子情報 |                   |      | 8    |    |      |    |    | 1  |     | 9  |
|         | 物質   |                   |      |      | 8  |      | 2  | 1  |    |     | 11 |
|         | 環境都市 |                   |      |      |    | 8    |    |    |    | 1   | 9  |
|         | 自然   |                   | 1    |      | 1  |      | 5  | 3  |    |     | 10 |
|         | 人文   |                   |      |      |    |      | 1  | 11 |    |     | 12 |
| 合計      |      | 6                 | 9    | 8    | 9  | 9    | 8  | 15 | 1  | 0   | 65 |

表 4 どの学科・教室の公開授業に参加したか？（後期）

|         |      | 参観した授業（学科・教室・専攻科） |      |      |    |      |    |    |    |     | 合計 |
|---------|------|-------------------|------|------|----|------|----|----|----|-----|----|
|         |      | 機械                | 電気電子 | 電子情報 | 物質 | 環境都市 | 自然 | 人文 | 学際 | 専攻科 |    |
| 参加教員の所属 | 機械   |                   |      |      | 1  |      |    |    |    |     | 1  |
|         | 電気電子 |                   | 3    | 1    |    |      |    |    |    |     | 4  |
|         | 電子情報 |                   |      | 3    |    |      | 1  |    |    |     | 4  |
|         | 物質   |                   |      |      | 5  |      | 1  | 1  |    |     | 7  |
|         | 環境都市 |                   |      |      |    | 5    | 2  | 1  |    |     | 8  |
|         | 自然   |                   |      |      | 1  |      | 4  | 2  |    |     | 7  |
|         | 人文   |                   |      | 1    |    |      | 1  | 6  |    |     | 8  |
| 合計      |      | 0                 | 3    | 5    | 7  | 5    | 9  | 10 | 0  | 0   | 39 |

○ 概ね、所属する学科・教室の授業を参観する傾向にあるが、参観された授業のうち 25% が他学科（学際含む）の授業であった。これは令和 4 年度 (32.9%) と比べると減少したが、令和 3 年度 (12.5%) と比べると上昇しており、センターとしても、今後も自身の専門領域に拘らずに他学科・教科の授業も積極的に参観して頂くように働きかけたい。

表5 どの学年の公開授業に参加したか？（前期）

|         |      | 参観した学年 |    |    |    |    |     | 合計 |
|---------|------|--------|----|----|----|----|-----|----|
|         |      | 1年     | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 専攻科 |    |
| 参加教員の所属 | 機械   |        | 1  |    | 2  | 1  |     | 4  |
|         | 電気電子 | 1      | 1  | 5  | 2  | 1  |     | 10 |
|         | 電子情報 |        | 1  | 1  | 3  | 4  |     | 9  |
|         | 物質   | 2      | 2  | 6  | 1  |    |     | 11 |
|         | 環境都市 | 1      | 1  | 2  | 2  | 2  | 1   | 9  |
|         | 自然   | 4      | 4  | 2  |    |    |     | 10 |
|         | 人文   | 3      | 4  | 4  |    | 1  |     | 12 |
| 合計      |      | 11     | 14 | 20 | 10 | 9  | 1   | 65 |

表6 どの学年の公開授業に参加したか？（後期）

|         |      | 参観した学年 |    |    |    |    |     | 合計 |
|---------|------|--------|----|----|----|----|-----|----|
|         |      | 1年     | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 専攻科 |    |
| 参加教員の所属 | 機械   |        | 1  |    |    |    |     | 1  |
|         | 電気電子 | 1      |    | 1  |    | 2  |     | 4  |
|         | 電子情報 |        |    | 1  | 2  | 1  |     | 4  |
|         | 物質   |        | 2  | 4  |    | 1  |     | 7  |
|         | 環境都市 | 5      |    |    | 3  |    |     | 8  |
|         | 自然   | 3      | 4  |    |    |    |     | 7  |
|         | 人文   | 1      | 5  | 1  |    | 1  |     | 8  |
| 合計      |      | 10     | 12 | 7  | 5  | 5  | 0   | 39 |

○ 参観した学年について、令和5年度は前後期を通して件数の多い順に3年生 27 件、2年生 26 件、1年 21 件、4年 15 件、5年 14 件、専攻科 1 件となった。低学年の参観数が多い傾向にある。

## 令和5年度(前期)公開授業週間「FDレポート」

| ※授業担当者の学科(教室) | ■参考になつた点  |   |   |  |  |   |  |  | ■その他 |
|---------------|---|---|---|--|--|---|--|--|------|
|               | 板書やプロジェクト・OHPの使い方   | 教員の説明(声の大きさ・スピード等)  | 授業の導入(出席の取り方、前回の復習等)                                      | 授業の運営方法  | 教材や配布物(小テスト・プリント)                                | 課題や演習の時間配分  | 理解度の確認   | その他  |      |
| 一般(人文)        | PPTスライドと板書の組み合わせが大変わかりやすかった。  | 聞き取りやすい発声だった。   |   |  | 穴埋め式のプリントを配布することで学生が聞く姿勢を保っていました。                |   |  |  |      |
| 一般(人文)        |   |   | 前回の授業で行った小テストについてのフィードバックから授業に入っていた。                      | 学生を当てることで緊張感もあった。  | 板書を書き写すプリントがあつた。どのようにして書き込むのかがわかりやすく参考になるものであった。 |   |  |  |      |
| 一般(人文)        |   |   | ・単語確認テストから入り、その中で学生とコミュニケーションをとづいていた。                     | ・「英語を使うことを中心に授業が構成されていた」。<br>・小テストの採点は学生同士で、「前回のナストの返却は、採点と作文中に。学生も手伝っていた。                             | ・小テストの裏面を使って、作文を書かせていた。                          | ・後半は、英語で伝言ゲーム   |  | ・声掛けは頻繁に行っていた。   |      |
| 一般(人文)        | 板書の字がとにかくきれい  | 声も大きく、ジェスチャーも交えていて良い  |   | 学生に相談させ、結果を発表させていた   |  |   |  |  |      |
| 一般(人文)        | ・板書の字が綺麗。<br>・板書の手の位置が整っている。  | ・聞き取りやすい優しい声。<br>・相手に向かって話すうな話し方。<br>・ポイントも分かりやすい。<br>・物語の全体像がイメージしやすいように物語の構成を最初に説明していく。       | ・前回話したところを綺麗にまとめて説明されており、学生も入りやすかったよう                     | ・周りの人たちと話す機会を多く設けていた。<br>・また、学生も周りと積極的に話しており、そういう状況にしている先生の空気感が良かった。                                   | ・無くても問題ないほど、学生同士が積極的に学ぶ機会を設けていた。                 |   | ・先生から学生に質問をすることを多くし、その質問も学生が考えて答えられるレベルに設定されていた。                           |  |      |
| 一般(人文)        | ・後ろからも見やすく、丁寧に板書されていた。  | ・スピード、大きさ共に適切で聞きやすかった。<br>・時々関西弁があり、メリハリがあった。<br>・言葉の説明も丁寧にされていた。類義語を紹介するなど、説明力を伸はす取り組みもなされていた。 |   | ・一方的な授業ではなく、学生を指名し、答えさせるなど、双方向の授業を展開していた。  |  |   | ・個人指名をし、分からぬ場合はヒントを出すなどして、理解度の確認をしていた。                                     | ・全体的に集中して授業に取り組んでいた。教員から学びを得たいという生の意欲が伝わってくる授業だった。   |      |
| 一般(人文)        | ・板書の字がとても美しく、見やすかった。  | ・声の大きさは適切で、語り口も穏やかであった。<br>・従業名では話すスピードを速めるなど、メリハリが感じられた。                                       |   | ・教員が講義をするだけでなく、ポイントで間を立て、学生に話題をわざわせていた。<br>・個人指名で順番に当てていくのだが、ところどころ学生に指名する生徒を選ばせなど、指名が単調にならないよう工夫していた。 |  |   | ・個人指名をし、分からぬ場合はヒントを出すなどして、理解度の確認をしていた。                                     | ・学生は慣れ話し合いに積極的に参加していた。授業と、教材に興味を持って授業に臨んでいる様子だった。  |      |
| 一般(人文)        | ・板書で書くことが厳選されている。<br>・種やかな口調だが、声の大きさは後ろでも聞きやすかった。   | ・前回の振り返りを学生同士で確認させた後、ポイントを教員で説明していくばかりやすかった。  | ・説明一貫いかけ話し合い→各自による解答→解説→板書のよな流れで構立されていて、双方向の授業が展開されていました。 |  |  |   | ・指名するときの当方に変化を付けており、最初に当られた学生に次に当てていく方向を聞いたりして、授業がマンネリ化しないような工夫があつて良いと思った。 | ・授業の運営方法が確立しているので、学生が今やるべきことは何かということがわかりやすく、受けやすい授業だとと思った。   |      |
| 一般(人文)        | ・板書がとても丁寧で見やすかった。   | ・ゆっくり丁寧に説明がされていた。   | ・はじめに前回のフィードバックと先生の感想を共有して、学生との交流が行われていた。                 | ・スマホを使って学生自身に言葉の意味を調べさせ、学生が主体的に授業に取り組めていた。<br>・学生に拳手をさせ、自主品牌を作る環境を作っていた。                               | ・プリントが教科書の要点をまとめてわかりやすく、授業のテンポが非常に良かった。          |   | ・机間巡回を行ひ、作業の確認を行っていた。<br>・学生に拳手をさせ発表せることで、理解度を確認していた。                      |  |      |
| 一般(人文)        | ・板書のテンポが良く、見やす。   | ・丁寧な説明で、内容がわかりやすい。  | ・先生の感想を含めて前回の授業の振り返りがされていて、学生と感想の共有がされていた。                | ・先生の声を拾いながら授業が展開されていました。<br>・授業の目標が明示され、学生が何を意識すべきかがわかりやすかった。  | ・学生の感想をまとめたプリントが用意され、クラス全体で共有されいた。               |   | ・学生の板書の様子を確認しながら授業を進行していた。<br>・指名して発表させることで、理解度を確認していた。                    |  |      |
| 一般(人文)        | プロジェクトを単語テストの正解提示に上手く利用していた。  |   |   | ・最小の説明で、しっかりと学生が演習できるよう工夫が見られた。  | 単語確認試験の作問に工夫が見られた。                               | 単語確認試験の準備時間5分、解答時間5分は適切であった。                                  | 文法確認(英作文)の演習を行なわれている時に、しっかりと個別対応ができるていた。                                   | 学生に提示する例文は、「典型例」を使うのが良いように思われる。  |      |
| 一般(人文)        | 多くの質問を寄せやすく、ワード(新出学習事項等)をまずまとめており、学生にわかり理解しやすかった。学生の反応が良くなったり工夫があると丁寧良いですね。                           | ・生徒を頻繁に指名し、英語発話の機会を多く与えていた。<br>・授業の冒頭に今回の講義の学習内容について要点を説明していた(前述)。                              |   | ・タスク(課題プリント)を通して、アクティブラーニング(学生主体の学習)がなされていた。   |  | ・世界的有名な新刊テキスト及びOEICの対策テクストを使用している。                            | ・生徒の反応を丁寧にみて理解状況を確認している。<br>・平易な英語を使いフレンドリーな姿勢で学生に接し、理解度を確認していた。           | ・総合的に問題ない講義であった。<br>・特記事項はありません。   |      |
| 一般(人文)        | ・授業の要点が簡潔にまとめられていた。少しフォントが小さく後列から見にくかった。  | ・生徒の質問ひとつひとつに的確に対応していた。   |   | ・知識を与えるだけではなく、実際に思考実験を行って考えさせる機会を中心構成されているのが素晴らしい感じた。  |  | ・授業の性質上避けられないところでもあるが、講義自体が行きつ戻りしているところが学生が若干迷子になるかもしれないを感じた。 | ・丁寧に理解度を確認しながら授業を進めているのが印象的だった。さらに、授業の最後に課題を与えて文章としてもアートする機会を設けていた。        | ・上手にもつていてけば学生は案外哲学に興味があることが意外で、非常に興味深かった。  |      |
| 一般(人文)        | 文法事項の解説をスライドで丁寧に作成していた。   |   | 前回までの復習として小テストを実施していく。小テスト前に準備時間を与えるなどの配慮も行っていた。          | 授業全体の説明と演習のバランスをきちんととどめ、個々の学生の疑問に丁寧に対応していた。  | 教科書の内容に関連した小テスト・ワークシートを作成し、活用していた。               |   | この授業も含め、多くの授業で学生の作文を回収し、個別にフィードバックを与えて文を改善していく点は見習うべき点であると感じた。             | 授業後に気になる学生についての状況をシェアしたり、対応方法について共同で考える場となつた。  |      |
| 一般(人文)        | ・A4用紙に適宜説明を書いて黒板替わりにしていた。   | ・声が大きく聞き取りやすい。  | ・前回の課題の返却とアドバイスの時間としていた。                                  | ・教科書の内容を進めていた。練習問題を解く時間、答え合わせの時間と区切って話しておられた。作文やスピーチの課題もあるようだった。                                       | ・作文成のための補助プリントを配っていた。                            | ・15分くらい、少人数ということもあり、個々の進捗を見ながら時間と時間を決めていたようだった。               | ・練習問題解答後に、丁寧に答え合わせをしていた。   |  |      |
| 一般(自然)        | 基本的にipadの画面をプロジェクターで映写していた。さらに、映写するだけでなく、その他の操作もできる。工夫されていて、画面自体も、わかりやすくなっているように、レイアウトや色使いに工夫がなされている。 | 声の大きさは、ちょうどよい。スピードについては、各学生にあわせるのは、この授業形式では不可能なので、ここでは評価しない。                                    | テストの返却など、最初は前回の復習から入り、前回からの内容とうまくつながるように、授業の導入を行っていた。     | スクリーンをみせ、配布したプリントに記入させるなど、学生が進行にあわせてくれて学習していました。   | プリントのレイアウトなどが工夫されていました。                          | 時間配分については、このような授業形態では各学生に合わせるには不可能なので、ここでは評価しない。              | 演習をおりまば、直前に学習したことをその場で復習させる形式で行われておらず、大変参考になつた。                            | 口頭での説明が多いので、視覚的な効果もねらったほうがよいかもしれません。例えば、行うべき操作(代入、移項等の式変形)を、視覚的に実感させるような工夫をするとよいと思います(教科の特性上、技能の習得も求められるので)。 |      |
| 一般(自然)        | 板書は後ろからでも見やすかった。  | 後ろでも十分に聞き取れた  |   | エクセルを用いた授業をおこなっていた。また、学生も各自パソコンを持ち込んで作業をおこなっていた。   | エクセルのファイルを配布していた。                                |   | 各自、ネットでデータを探し、そのデータをもとにグラフを作成して理解の確認をさせていた。                                |  |      |
| 一般(自然)        | 板書の文字が大きく見やすかった。  | 学生が理解できる言葉でわかりやすく説明していた。  | 5分程度前回の復習をしていました。   |  | 板書を書き込むためのプリントを配布していた。                           |   |  |  |      |
| 一般(自然)        | 図などを取り入れて、わかるやすい工夫をしていた   | 声も大きく、良いテンポだと感じた  |   |  |  |   |  |  |      |
| 一般(自然)        | ・長いリーチを生かしたダメーダミックな板書。字は大きく読みやすい。   | ・ゆっくり。一つ一つの単語を区切って話しており聞きやすい。   |   | ・単振動の実例をねばねを用いて実演していく。   |  | ・図を多用する場面で作図用のプリントを併用していた。                                    |  | ・演示実験は時間、場所、体力(器具が大きく重い)が必要なだけ避けられがちであるが、うまく既存の道具を用いて説明していた。   |      |

| 授業担当者の<br>学科(教室)<br>の使い方 | 板書やプロジェクト・OHP<br>の使い方  | 教員の説明<br>(声の大きさ・スピード等)   | 授業の導入<br>(出席の取り方・前回の復習等)                    | 授業の運営方法   | 教材や配布物<br>(小テスト・プリント)            | 課題や演習の時間配分  | 理解度の確認   | その他  | ■その他  |
|--------------------------|--|--|---|---|----------------------------------|---|--|--|---|
| 一般(自然)                   |  |  | ・盲頭に丁寧に前回の授業内容の復習をしていた。                     |   |                                  | ・学生が用意する時間やプリントに取り組む時間を十分にとっていました。  |  |  |   |
| 一般(自然)                   | ・チョークの色は赤黄赤の3色のみ、黒板を2~3分割して使用、黒板を自分で消すときも丁寧に横消してあり、次の板書が見やすい。          | ・声は普通の大きさで、自然と教室室内が静かになる感じ。話の方がゆっくりで聴きやすい。                                     | ・前回の授業の復習を5分程度最初に行っていった。                    | ・教科書の内容をそのまま進めていく。例題の設定を少し変えていた。板書のページがゆっくりめなので、学生が一瞬ウツツしても追いつけるようだった。  | ・板書を写す用のA3プリントを配っていた。            | ・例題の解説に20分強。  | ・例題や類題を解くことで理解度を深めさせていたようだ。  |  |   |
| 一般(自然)                   | ・板書の字がきれいで見やすい。  | ・声を張っていた。  | 前回の復習があった                                   | 独自のプリントを作成されていた。  | 教科書とプリント                         |   | 学生に黒板に書かせていた   | 「希ガス」が「貴ガス」になつていて、勉強になりました。  |   |
| 機械                       |  | 広い工場内でも聞こえるように配慮して話を始めている。   | 一列に並ばせ、個人個人の体調を確認している                       | 考へて行動するように促している   |                                  |   | 日誌を書くことで確認している   |  |   |
| 機械                       |  | 学生のみなりチェックを兼ねて二人ずつ名前を呼んで挨拶をしていました。ヒヤリハット事例の紹介をし、学生の注意を促していました。                 | 6~7名の小グループに分かれての作業実習                        |   |                                  |   | 各担当者が実演を交えて、学生の実技を細かくチェックしていた  |  |   |
| 機械                       | 板書とプロジェクトを併用   | 聞き取りやすい速度、大きさ  | スライドに目次を出して、これまでの流れを15分程度かけて振り返っていた         | スライドと板書を併用しての説明がスムーズで良い   | 資料をweb classにアップして、要点のみプリント配布    |   | 質問して確認していた   |  |   |
| 機械                       |  |  | 発表方法の確認、時間などを併せてスムーズに進行できるように盲頭に話している。      | 発表会であったため、発表に対する感想や質問を学生にも行うように指導していた。  |                                  |   |  |  |   |
| 機械                       | 大変見やすく書かれていた。  | ゆっくりと、丁寧に説明していく。   | クラス内をつぶさに観察し、普段と違う様子を見せる学生がいれば気遣っていた。       | 演習中心で、学生は地力がつくと考えられる。   |                                  |   |  |  |   |
| 機械                       | 黒板へ向かって左→右へ板面を3列程度に分けて使用<br>プロジェクトは不使用                                 | 明瞭<br>スピードも良好  | 課題返却を兼ねて確認<br>(名簿順に返却できるように予め準備されており、時間間隔縮) | 解説の際、教員からの一方的な説明にならないように、適切な時間間隔で学生を指名し問い合わせを怠っている。<br>その結果、クラス全体に適度な緊張感が生まれ、場の空気がうまく作られているように感じた。集中力を欠いたり、居眠りをしている学生はいなかったように思われる。 | 事前に提出されていた課題プリントの返却。             | 横書き解答を全ていつべんに説明するのではなく、説明に適切な間隔で計算演習をさせていた。<br>このことにより、一方的な説明により抑止を図っていました。集中力のほかに解き方の持続効果もあると思われた。 | 予め、提出された課題にすべて目を通し、理解度を確認していると思われます。他人のレポートを書く行為について、言葉掛けや質問により抑止を図っていました。自分が判別できないレベルでは元も子もないが、他人が読んで判別できるように配慮することは重要であると思われている。 | 量記号の書き分け(ここはWzW)について、その重要な性質を説明していました。専門分野を学ぶにあたって重要な要素の一つである。自分が判別できないレベルでは元も子もないが、他人が読んで判別できるように配慮することは重要であると思われている。 | より要領のよい別解を説明しつつも、学生の解法も間違いではないし、とくに複数回答通りに解く必要は、必ずしもない。読み手に対する配慮の心掛け」と述べられていましたが印象的であつた。レポートを受ける行為に対する声掛け等も含むると、「自分で考え、よりよくなるよう創意工夫してやらないさい」という主張で、一貫している感じた。 |
| 電気電子                     | 必要な内容をスクリーンに表示し、資料配布していた   | 必要な内容を大きな声で説明していた  |   | 演習で自分で問題を解決できない学生が増えていたように感じた。  | 講義資料を配布している                      |   | 順次巡回して、学生の状況を確認していた  |  |   |
| 電気電子                     | PPTで実験の流れを分かりやすく説いており、また学生がいつでもその資料を確認できるように事前に共有してあり、分かりやすかった。        |  | 学生が課題に取り組む時間と充分取っており、実践と学びを両立できそうだと感じた。     | 毎回レポート提出があるのか、前回のレポートに関する講評があり、前回の授業内容を受けて学生が学んだ内容の理解に対するフィードバックがなされていてよかったです。  | 目の前のマシンで、習った内容をすぐに実践できる形式が素晴らしい。 | センサや、駆動系などがついているサッカーロボットパワーボードによる講義、プログラムの資料なども付随していました。  | 技術職員の方がおり、適宜学生の進捗などを平行して確認していました。  | 後期の実験の際に、同様にプログラムを使ったマシンを作成アクトアーラーニングを行っているが、その前段階としてマシンを動かすプログラムを学ぶ授業の内容などを確認できたのが良かった。                               | 同じ学科でも、他の授業で学んでいる内容の把握は大分になれて居なかったりするので、情報共有は重要なだと感じた。とくに一度の授業で身にこなしことも多いので、異なる教員が同じ内容を違う形で教えることも重要なと思う。  |
| 電気電子                     | ・スライドと黒板を併用しての授業で分かりやすかった。スライドを併用することで学生は板書に気を取られずに内容を聞くことができて良いと思います。 | ・声の大きさとスピードは適切だと思います。  |   | スライドで前回の復習から入り、本題に移る授業導入などで分かりやすかったです。  | ・内容の説明の後に演習をしていたので、理解しやすいと思いました。 |   |  |  |   |
| 電気電子                     | 板書が丁寧で分かり易い。   | 声はハリがあり、見習いたいです  |   |   |                                  |   | 例題の復習も演習に取り入れていた。  |  |   |
| 電気電子                     | 板書とプロジェクトを使い分けおり、学生のノート筆記に配慮していた。                                      | スピードはゆっくりで学生に配慮していた。   |   |   | 丁寧なプリントを作成し演習の時間をとっていた           |   |  | 採用初年度ということもあり、緊張している雰囲気が感じられたが、  |   |
| 電気電子                     | 主にプロジェクトを用いていた。  | 丁寧な説明であった。   |   |   | 今回の授業では特にプリントは使用しなかった。           |   |  | 実地に即した解説が出色である。  |   |
| 電気電子                     | 板書の文字が大きく見やすい。色分け、黒板を3分割して丁寧に書いていた。                                    | ゆっくり、ていねいにかみしめるように話されていて聞きとりやすい。   |   |   |                                  |   |  |  |   |
| 電気電子                     | 実験室の後ろまで見える大きさの字で見やすい。   | 聞き取りやすい大きさとスピードで書いた。   | 1人1人丁寧に出席確認をしていました。                         | 説明と実習のバランスが良い。  |                                  |   |  |  |   |
| 電気電子                     |  | ・教室の後ろまで声がしっかりと聞こえた。   |   | ・前回授業の課題を授業開始時に学生に説明されることで、復習を促していました。  |                                  |   |  | ・どの学生が問題を解決したかを分かるように記録していた。   |   |
| 電子情報                     | 板書で説明を聞く範囲をうまく分けて説明が行われていて良い。  | 最後尾でも声がはっきり聞こえる。   | 前回のレポート返却から始まり、学生の理解把握がよかったです。              | 重要な式の説明の際に、最終的な式の示す意味を事前に強調してから説明がてよい。  |                                  |   | 前回の授業での質問への回答などもあって良かった。   |  |   |
| 電子情報                     | 黒板灯は消した方が見やすい。前席も消した方が見やすいが、教科書ノート重複するなどついていてもOKだと思います。                | 声はもう少し大きいほうが聞きやすい。マスクをしているので、外出が終わったら温まってきたのか、大きくなりました。丈夫です。聞こえます。スピードも問題ないです。 | 特に問題なし                                      | パワーポイントを使った資料。動きがあるのがわかりやすい。が、字が大きくて見やすいかも。事前に配布してあるので、PCで見ている人はいいが、そうでない人は、どうやってわかるのか、ポイントなどを示した方がいいと思いました。                        | 事前に講義のパワーポイント資料が配布されている。         | 毎回、レポート提出しているようです。<br>時間中も演習を交えて行なっている。   | 個別に確認しているようです。   |  | 配布しているパワーポイントと、表示している資料が違う学生がいるので、どこか確認できるようにするといつ思います。<br>学生のファイルを見たら、内容は同じですね。見かけが違うので戸惑って探ししているようでした。<br>この辺は、自分の資料配布でもどこまで同じにしようか迷うところではあります。             |
| 電子情報                     | 実験の手順書を改めて表示   | ちょうどよい   |   | ・プログラミング言語は指定せず、個人毎に採用となる画像処理プログラムを作成し、その中でつまずいたところを教員が指導する   |                                  | ・実験として学生の作業時間が十分確保されている   |  |  |   |
| 電子情報                     | C言語の環境設定方法について、学生がつまづきやすい点を表示  | ちょうどよい   |   | ・プログラミング言語は指定せず、個人毎に採用となる画像処理プログラムを作成し、その中でつまずいたところを教員が指導する   |                                  |   | 個別に確認  | ・実験および授業で用いるプログラミング言語に関しても、環境設定のしやすさについて考えることができた  | 得意な言語を用いる学生や、あえて新しい環境の言語でライする学生がいて、環境が主体的に言語を選ぶことができるところがよいと思う。   |

| 授業担当者<br>の学科(教室) | 板書やプロジェクト・OHP<br>の使い方   | 教員の説明<br>(声の大きさ・スピード等)                         | 授業の導入<br>(出席の取り方、前回の復習等)            | 授業の運営方法   | 教材や配布物<br>(小テスト・プリント)   | 課題や演習の時間配分   | 理解度の確認  | その他  | ■その他                                    |
|------------------|---|--|-------------------------------------|---|---|--|---|--|---|
| 電子情報             |   |  |                                     | 実験テキストに沿って演習が行われ、他の科目で学んだプログラミング言語での具体例を取り入れ、理解度を深めていた。                 |   | 1年次に、フローチャートの基礎的な部分を学んでいたため、順調に進んでいた。                                  | 学生は、説明を聞き演習を行い、分からぬことや、疑問に思うことは、個別に教員に聞いていた。<br>教員は、丁寧に説明されていた。   |  | アルゴリズムとフローチャート3週にわたる演習の2週目              |
| 電子情報             |   |  |                                     | ・グループごとに分かれて、アイデアをまとめていた。<br>・必要に応じて担当教員がアドバイスしていた。                     |   |  | ・アイデア出しに必要な基本的な知識をしっかりと事前に学生に周知していた   |  | ・学生同士で積極的に議論している様子が見られた                 |
| 電子情報             |   |  |                                     |   |   | 3週のテーマで、1、2週目で実験終了し、3週目は解析・レポート作成と時間的には十分余裕がある。学生も落ち着いてレポート作成に取り組んでいた。 |   |  |   |
| 電子情報             | 板書とプロジェクトをうまく使い分けていた。(説明資料はスライド表示。大事な部分は板書)                   | 大きく聞きとりやすい説明であった。                              | 出欠を取る際に複数回確認をしていて。                  | なぜその内容を学ぶ必要があるのか、どういった場面で必要になるのかを示してからの説明となっており、学生の関心が高まる工夫がされていた。      | WEB上に説明資料があり、予習復習ができるようになっていた。  | 30分程度の説明のあと、演習を実施して理解度を確認していた。   | あるプログラムに対して、複数の書き方を紹介していた。(最初は理解しやすいように変換したのが気になつた。発表会の審査も時間内に終わるよう色々と工夫はされているようでした。)また、よくある間違い例も挙げていた。 |  |   |
| 電子情報             |   |  |                                     |   |   |  | プロジェクト演習が開講した時担当していたので、どのように変化したのか気になつた。発表会の審査も時間内に終わるよう色々と工夫はされているようでした。                               |  | 中間会発表会でした。                              |
| 物質               | ・要点に絞って板書されており分かりやすかった  | ・声が後ろまで通っていた。<br>・簡潔な説明で分かりやすかった。              | ・前回および、去年の話も含めて話されていた。              | ・用意した資料とそこに加えて説明をより丁寧にされていた。<br>・最後に演習もあり、より理解が深まつた。                    | ・板書が書ききれなくとも資料を見れば理解できるようになつた。  | ・集中力が切れ疲れ切れ前に演習に入ったので良かったように思う。  | ・授業では学生の様子を確認しながら説明し、演習も取り入れていた。  |  |   |
| 物質               | 板書が丁寧である(文字が大きい)  | ゆっくりとした口調で聴き取りやすい                              | 前年度の履修内容を確認しながらおこなっている              | クラスの中位程度にレベルを合わせている   |   |  | 教科書のポイントになるところを指摘しながら理解を助けている   |  |   |
| 物質               | テキストに従って、学生が自主的に実験を行つていった。                                    |  |                                     | 学生を8つ程度のグループに分け、グループごとに異なる分析実験を学生が主体となって行つていった。                         |   |  | 単元ごとにレポートを料し、レポートの記述内容にて判断する。   |  |   |
| 物質               | スライドを暗いバックにしているので、部屋を暗くしていみると見やすい                             | ゆっくりでわかりやすい                                    | 前回の復唱している                           |   |   |  |   |  | 教える範囲を少なくすれば、わかりやすい授業は可能だと思った。          |
| 物質               | ・適宣板書していく。  |  |                                     | ・プリント集を予め配布しており、毎回それに記入していく形で進めている。                                     | ・プリント集(配布済み)  |  |   | ・大学編入試験の過去問をプリント内容に含めていた。  |   |
| 物質               | ・プロジェクトでパワーポイント使用。スライドが切り替わるときに切り替えてよいか学生に確認しつつ進めていた。         | ・ゆっくりで大きく、聞き取りやすい。                             | 前回の授業内容の復習をササッと行っていた。               | ・教科書の内容をそのまま進めていた。授業の内容を最初に提示してから授業に入つていた。また、質問がないか適宣学生に聞きつつ進めていた。      |   | ・前回の授業内容に関する問題を3問、各10分で解かせて、解答解説を行つていた。                                | ・同左。  |  |   |
| 物質               |   |  |                                     | ・教科書の内容をそのまま進めていた。例題を学生に解かせるだけでなく、黒板に解答を書かせていた。                         |   | ・10分ほど時間を取つていた。  |   |  |   |
| 物質               | 昨年度も詳見ましたが、昨年度よりも講義スライドがブラッシュアップされていた。                        | 教室の後ろまでしっかり聞こえる声質と大きさだった                       | 昨年度と比較すると、前回の復習を行うようになつた。           | 講義スライドは事前にTeamsにアップされているところで、学生も事前に予習しやすいように工夫されていた                     |   |  |   |  |   |
| 物質               |   | それぞれの教員が各テーブルで指導していく参考になつた。                    |                                     |   |   |  |   | 学生がイキイキしていくとても嬉しかつた。   |   |
| 環境都市             | ・プロジェクトと黒板を使い見やすい。  | ・声の大きさ、スピードとも聞き取りやすい。                          |                                     |   |   |  |   |  |   |
| 環境都市             | ・板書の字が大きく、丁寧で見やすい。<br>・どのぐらい書かをはじめに伝えていたため、ノートをきれいにまとめることが出来る | ・学生の計算の進捗に合わせて授業を臨機応変に進めていた。<br>・声が大きく、聞き取りやすい |                                     |   | ・計算用紙を準備して配つていた   |  | ・計算の進捗状況を見て回つていた  |  |   |
| 環境都市             |   |  |                                     | ・自学自習を積極的に取り入れ、分からぬ部分を学生同士で聞きあうことで解決していた。                               | 自習用プリントを配布していた  |  | 小テストによって理解度を確認していた。   |  |   |
| 環境都市             | 見やすいPPTスライドでした。   | 声が良く通る。  |                                     | 板書とPPTを併用して、互いの良い部分を効果的に使っている。  | PPT資料を配布しており、丁寧。  |  | 学生の理解度を見ながら進めている。   |  |   |
| 環境都市             |   |  |                                     |   |   | 演習と報告書の作成時間のバランスが良い。   | 学生同志が教え合うことで、理解度は高まつていて。  |  |   |
| 環境都市             | 大きな文字で、教室の後方からも見やすかったです。                                      | 後方からも充分に聞き取れる大きさで、ゆっくり話をされていました。               | 授業の導入は、Quiz(小テスト)の返却と課題提出が行われていました。 | 問題集から演習問題を選択し、丁寧に解説していました。解答欄よりも式の展開を重視するこの日の話、問題の話、答えの桁数…どれも大切だと感じました。 | Quizの模範解答を配布し、丁寧に解説していました。解答欄よりも式の展開を重視するこの日の話、問題の話、答えの桁数…どれも大切だと感じました。 | 充分に時間をとつて解説されていました。  | 指名した学生と対話しながら授業を展開していました。理解度も確認できると感じました。   | 力と力の間隔(距離)について、後方の学生は、ノートに3mと4mを等間隔で描いていました。定期を使う意識を持たせるとより良いと感じました。 | 3年生の構造力学を担当しているため、参考になりました。ありがとうございました。 |
| 環境都市             | プロジェクトスライドの文字がやや小さい   | 大きい声   | 課題提出とともに欠欠確認                        | 前回授業で終わつたところを確認してから本日の授業を開始   |   |  | 授業の最後に課題を与えている  |  |   |
| 環境都市             | ・プロジェクトの字が大きく見えやすい  | ・大きな声でゆっくり話しておいた                               | ・前回の復習から始めておりよかったです                 | ・実習と説明のバランスが良い。   |   |  | ・講義と演習の時間配分がよい  |  |   |
| 専攻科              |   |  |                                     | ・初めに一人で課題に取り組み、授業の一部の時間で分からぬ部分を他の学生に聞き、その後再度自分で取り組む方式であった               | 課題プリントを配布していた   |  | 学生の取り組みを巡回しながら確認し、サポートしていた。   |  |   |

## 令和5年度（後期）公開授業週間「FDレポート」

| ※授業担当者の学科（教室） | ■参考になつた点                                    |  |  |  |   |                                     |   |   | ■その他                                      |
|---------------|---|--|--|--|---|-------------------------------------|---|---|---|
|               | 板書やプロジェクト・OHPの使い方                           | 教員の説明（声の大きさ・スピード等）                         | 授業の導入（出席の取り方、前回の復習等）                   | 授業の運営方法  | 教材や配布物（小テスト・プリント）                       | 課題や演習の時間配分                          | 理解度の確認                                      | その他   |   |
| 一般（人文）        | ・板書の字が美しい                                   | ・学生が理解しやすいように間をあけて説明していた。                  | ・前回の内容も都度確認し、説明と学生同士の話し合いをバランスよくとっていた。 | ・説明と学生同士の話し合いをバランスよくとっていた。                             |   | ・学生の話し合いの時間が1~2割程度                  | ・話し合いの結果を発表させることで、確認していく。                   | ・答えがあつていても、基本的に学生をほめる感じあり、授業の雰囲気が良かった。                        |   |
| 一般（人文）        | ・教科書やプリントをスライドとして映していく、今まで見ている話がわかりやすい。     | ・声に張りがあって聞き取りやすい。                          | ・復習として、様々な当て方で学生に答えさせていた。              | ・説明だけでなく、スマホで調べさせたり考えさせたりしていく、身近に感じられるような工夫がされていた。     | ・プリントを配布していた。教科書の地図やグラフを活用していた。         | ・考える時間5分程度、発表と説明含めて5分程度             | ・考えていないさうな学生を指名して考えさせる工夫をしていく。              | ・学生の指名の仕方が一定ではなく、緊張感をもつて取り組めているようだった。                         |   |
| 一般（人文）        | ・スライドの要点がまとまつてわかりやすい。                       | ・ゆっくりと端的に説明していく、話の内容がはいってきやすい。             | ・最初にテーマを説明し、何を扱うのか分かってから授業を聞かた。        | ・説明→課題への話し合い→共に解説という流れがあり、今何の時間なのがわかりやすい。              | ・プリントを見れば授業の展開がわかる内容になっていた。             | ・課題に取り組むための話し合いの時間が多く確保されていた。       | ・話し合いのあと、発表とフィードバックを行って確認していく。              | ・具体的な説明が身近なもので関心を持ちやすかった。                                     |   |
| 一般（人文）        | とてもハッキリしていて聞きやすい。                           |  |  |  |   |                                     |   | 課題の難易度を段階的にあげていくやり方が参考になりました。                                 |   |
| 一般（人文）        | ・ほんの一部だが、解説しにくい辞書もあつた。講義のテーマやワードを中心に強調していた。 | ・英語が理解できない学生は、講師が時々怒っているように誤解するかもしれない。     | ・問題なし                                  | ・引き続き、出来る限りのアクティブラーニング（学年生全体の協働作業）が導入されている。            | ・英米を中心世界でもでかななり高いテキストを使用している。           | ・とりわけ気になる点はない。                      | ・学生の答えを辛抱強く待ったり手助けを行ない、その理解度を確認している。        | 学生に回答してもらい、それらの回答をもとに、一般化＆ポイントの明確化がうまい具合に行われており、その点が参考になりました。 |   |
| 一般（人文）        | 要点および主となる発問が簡潔に提示されていた。                     | 自分よりもゆっくりとした説明、問い合わせになつておらず、落ち着いた授業になっていた。 |  | 学生とのやりとりの機会が中心になり、ペアから全体への共有が無理なくされていた。                | 自分の考えやスライドのポイントをまとめるために工夫されていた。         | 学生とのやり取りと倫理の概念の説明のバランスがよく考えられていた。   |   |   | 学生からの意見を上手に拾い、それを元に授業を展開している様子がとても参考になった。 |
| 一般（人文）        |   | 声が大きく、聞き取りやすい                              |  | 学生の考えを発表する時間があり、とてもよかったです。                             | 課題プリント                                  |                                     | 個人で考えてきたことを共有しあう時間の後に、教員からの解説がありわかりやすかったです。 |   |   |
| 一般（人文）        |   | 皆に問いかけるような、注意をひくようなものであった                  |  | ・小テストの解答を提示するだけではなく、類義語・対義語なども合わせて示していた                | ・単語、文法の小テストを行っていた                       |                                     | ・小テストにより、否が応でも英語の知識を身に着ける必要のある授業であった        |   |   |
| 一般（人文）        | 板書の文字サイズは後ろからでも見やすい大きさで、字も綺麗で見やすい。          | 学生が板書をノートに写し終つた後に説明されていて、授業で得るべきナカラが分かかった。 |  | 最初に目標を明示されていて、授業で得るべきナカラが分かかった。                        | 配布プリントで、作品の文章を丁寧に解説していく、板書を写す負担を軽減していた。 |                                     | 学生同士で作品について話し合う時間を設け、学生間で理解の確認ができる。         |   |   |
| 一般（自然）        | 丁寧であった。簡単に図も描かれていた。                         | 普通   | 課題の解答（学生に板書きさせ、さらに説明させていた）             | 説明と問題演習。ノートに図を描くことを指示されていた。また、板書を消して良いかどうか、学生に確認させていた。 | 教科書、課題（プリント）                            | 適当であった。                             |   | 学生に問題演習をさせたあと、学生に答えていた。また、細かい注意点なども、黒板に色をかけて、記入させていた。         | 細かい点で、大変参考になりました。                         |
| 一般（自然）        | 板書の字が大きく、わかりやすかった。                          |  |  |  |   |                                     |   | 新しい単元の導入部分で、単元の目的を話していたのが良かった。基礎解説Aとのつながりが確認でき、参考になった。        | 一般科目教室非常勤講師                               |
| 一般（自然）        | 丁寧  | ゆっくり目・わかりやすい                               | 適切                                     | 演習問題の最中に教室を巡回していた点が良い                                  | 問題のプリントを配布していた                          | 適切                                  | 適宜学生に指示を与えていた                               |   | 数学の基礎力が低下している中、工夫をしていることが良くわかる。           |
| 一般（自然）        | ボールを使ったトレーニング活動中の動きを図示説明された。                | 穢やかな声でゆっくりとわかりやすかった。                       | 出欠確認を確実にされ、その後、前回の内容の復習と今回の授業の説明をされた。  | 寒い体育館で説明は要領よく簡潔に行い、身体を動かし温まりながらの活動中に適宜説明が補足されていった。     |   | 身体を動かす時間を十分に確保されていた。                | 板書や説明がわかりやすく、すぐにトレーニング内容を実践できた。             |   |   |
| 一般（自然）        | ホワイトボードを使用して試合の勝率を記入する場所を指示していた。            | 適切な声量とスピードであった。                            | 名前を読み上げるとともに顔を見て出席の確認を行っていた。           | パラミント（試合形式）であったが、本時の目標を明確に説明した後に試合を行なつていて。             |   |                                     |   |   |   |
| 一般（自然）        |   | ・授業に伴う注意事項を最初に明確に説明していた                    |  | ・学生の自主性を尊重した授業進行                                       |   |                                     |   |   | ・学生同士でどのように協議を進めるか議論する姿が見られた              |
| 一般（自然）        | ・電子ノートをプロジェクトに映していた。                        | ・ややゆっくり話されていた。                             | ・前回の授業に関連付けながら授業を進めていた。                | ・教員の教科書解説→学生の例題解答→教員の例題解説…を繰り返して進んでいた。                 | ・教科書そのものも時折プロジェクトに映していた。                |                                     | ・学生に例題を解かせるところで確認していく。                      |   |   |
| 一般（自然）        |   | 実験室の各テーブルを丁寧に巡回し、学生に対して積極的に声かけをしていた。       |  | 安全に実験が進められるよう、磁石職員と連携をとりながら授業を進めていた。                   | 実験手順を示したプリントを配布しており、内容がわかりやすかった。        |                                     |   | 機器の破損などのトラブル時にも、迅速かつ冷静に対応されていた。                               |   |
| 一般（自然）        |   | 説明が丁寧で聞き取りやすかった。                           |  |  | 実験プリント                                  | 各自で実験を進める時間がしっかりと確保されており、学生も意欲的だった。 |   | 器具の破損等にも瞬時に対応していた。  |   |
| 電気電子          | ていねいに板書されておられた。                             | ゆっくり、確実に講義されておられた。                         | 前回のポイントをきちんと押さえて復習しておられた。              |  |   |                                     |   |   |   |
| 電気電子          | プロジェクトを使用し、資料が見やすかった。                       | ・声を張っていた。                                  |  |  |   |                                     |   |   |   |
| 電気電子          | ・スライドを1枚ずつ丁寧に説明していた。                        | ・聞き取りやすいスピードで話されていた。                       | ・出席を取つてから、授業の流れを説明していた。                | ・学生に質問等しながら進めていた。                                      |   |                                     | ・学生の状況を確認しながら理解度を確認していた。                    |   |   |

## 令和5年度（後期）公開授業週間「FDレポート」

| ※授業担当者の学科（教室） | ■参考になつた点   |  |   |  |  |  |                                       |                     | ■その他  |
|---------------|--|--|---|--|--|--|---------------------------------------|---------------------|---|
|               | 板書やプロジェクト・OHPの使い方  | 教員の説明（声の大きさ・スピード等）   | 授業の導入（出席の取り方、前回の復習等）  | 授業の運営方法  | 教材や配布物（小テスト・プリント）  | 課題や演習の時間配分   | 理解度の確認                                | その他                 |   |
| 電子情報          |  | 声が聞きやすくて、ゆっくりと丁寧でした。内容的にも説明が丁寧でわかりやすいと思いました。                                   |   |  |  |  |                                       |                     |   |
| 電子情報          | ・板書の字が丁寧である。<br>・文字が大きくて見やすい。                              | ・落ち着いてかみしめるように話されていて聞きとりやすい  |   | ・板書と説明がバランスよくわかりやすい  |  | ・授業内容の例題を速やかに解かせることで理解を深めていた。  | ・毎週、授業の最後に課題を与えて提出させていた。              |                     |   |
| 電子情報          |  | 聞き取りやすい声であった。  | miti  |  |  |  | 学生にクラス図を記載させていた。                      |                     | この授業がどのMCCに対応可能であるかの認識が改めることができた。                                       |
| 電子情報          |  |  |   |  | 実験教材も分かりやすく、学生が自ら学ぶように工夫されている。   |  |                                       | 学生が楽しそうに真剣に取り組んでいた。 | 昨年度まで実施していたライントレース実験をリニューアルした実験である。                                     |
| 電子情報          | 板書がきれいで、特に数式が読みやすい   | 声のトーンのリズム感が心地よい  |   | 丁寧な数式の展開が参考になつた  |  |  |                                       |                     |   |
| 物質            |  | ・大きな声で分かりやすく話していた。<br>・専門的な話を日常生活の話題とリンクさせながら話していました。                          | 前回の復習と今回の目的を伝えていた。  |  |  |  |                                       |                     |   |
| 物質            | オリジナルの実験プロトコルを用意されており学生に親切である                              | 明瞭で大きな声で指導されており大変よい  |   | 配布資料に結果を記入していく方法であり簡潔明瞭である   | 配布資料に結果を記入していく方法であり簡潔明瞭である   |  | 座学とのリンクがよく学生の理解が容易になっているといえる          |                     |   |
| 物質            | ・板書の字が大きく見やすい。<br>・Aラボのため、マイクを使用していた。                      |  |   | ・学際のため、わかりやすさに努め、適度にレクリエーションを交えていた。  | ・自作のカルタを使い、工夫されていた。  |  | ・授業中に理解度を確認していた。                      |                     |   |
| 物質            | 板書の字がきれいで見やすい、かつ十分にノートが取ることでできる板書スクリプトで黒板を使用していた。          | 教室の最後尾でも十分に声が聞き取れる声量でした。   | 前回の前振りの回収を行つていました。  |  |  |  | 有機化学の実験基の復習をしながら構造式を説明していくわかりやすかったです。 |                     | 白チョークだけで板書が成り立っているところがすごいと思いました。私だったら黄色とピンク色のチョークのどちらかも使って2色にすることが多いです。 |
| 物質            | プロジェクター（パワーポイント）を使用しており、学生に見えやすい（学生が見やすい）。                 | 学生に伝わる大きさの声。   | 丁寧に授業内容を説明している。   |  | 教材井は教科書を使用。  |  |                                       |                     |   |
| 物質            | 板書とプロジェクターを両方とも使用していた。板書では、細かい説明を、一口シェンクターでは大まかな概要説明をしていた。 | ・後ろまで難なく見える。   | その日に授業する内容をまず板書まで見だし、本当に結論を言っていた。結論を言った上で、授業に入るものは清新、非常に良いとは思が、自分の授業に取り入れるかは悩ましい。学生に調査の上、導入を検討したい | 時折学生に問題を提示したり、「10秒で考えてみよう！」という時間を作つたりと、要請する学生が能動的になるきっかけを作つたように思う          | 授業スライドを抜粋したものを配布していた。上記資料は、穴抜きになっており、授業中にその穴抜き部分を学生が記入するというスタイルだった。    |  |                                       |                     |   |
| 物質            | 学生の実験結果を板書することで聞きとった学生への対応や、より考える機会を与えていた。                 | 寸劇をいれることで、学生からの注目を集め、さらに、立体的に理解出来るようにしていった。                                    | 実施内容について、古谷先生の自己紹介も踏まえて、学生に興味を持たせる説明をされていました。   | 実施内容の基本的なところから結果から考察まで学生に考えさせるような流れになっていた。                                 | 実験操作から、原理、応用まで、丁寧に説明されたプリントを配布していた。                                    | 演習とレポートを書く時間、考え方を示しながら、学生から原理も分かり楽しかったという生の意見も聞けた。                             |                                       |                     |   |
| 環境都市          | ホワイトボードを丁寧に利用している  | 自由に演習させている   |   | パソコンで演習させている   |  |  | 学生間で確認しあっている                          |                     |   |
| 環境都市          |  | 声の大きさは適切であった。  |   |  |  |  |                                       |                     | 不具合のある製図板が多いため、他の手段で製図に取り組むことが必要である。                                    |
| 環境都市          | 既成机や場所打ち机、ペタ基礎等の写真、フーチングや机基礎、ケーン基礎の図をスライドで示しながら説明させていた。    | 教室後方から聞き取れる大きな声ではあるが、机の上に置いた教科書を読んでいる際は下に向いて話をされていた。学生の方を見ながら（教科書を持って）話をすると良い。 |   | 教科書に沿って基礎（フーチング、机基礎、ケーン基礎）の話をされていた。教科書の説明で不足する部分は、写真を示しながら解説されていたところが良かった。 |  | 「PCRCって知っていますか？」等生の知識を確認しながら説明されていた。学生は知らない専門用語も多いと思われるので、その都度、確認されていて丁寧だと感じた。 |                                       |                     |   |
| 環境都市          | ホワイトボードを使った少人数への説明で理解しやすい。                                 | ゆっくりと聞き取りやすい声。   | 実験の導入として目的を明確に説明していた。   |  |  | まとめの時間を作つてレポートの完成をサポートしていた。  | まとめの時間に試験を課し理解度を確認していた。               |                     |   |
| 環境都市          | 板書のスペースを先に説明しており、ノートが作りやすいと感じた。文字の大きさも後方からでも読める大きさだった。     | 声も大きく、ききやすいスピードであった。   |   | 配布プリントがあり、要点がわかりやすい授業設計になっていた。   | 配布プリントを埋めることでノートになるようになっていた。補足の部分はノートに書くという進め方で、後から見返した時にわかりやすいものを感じた。 | その都度、学生の理解を確認していた。質問を投げかける場面もあり、学生も真剣に取り組んでいる印象をもつた。                           |                                       |                     |   |

# FD 研修会

## FD ワークショップ（教育と研究のバランスの話）の開催について

（案内メール）

日時：9月 13 日（水）P.M. 1:30～2:30（教員会議開催日）

場所：大講義室

内容：教育と研究のバランスの話

皆さんには、福井高専に赴任した際、今までやってきた研究を継続的に行いたいと思っておられたのではないでしようか？

でも、実際に授業が始まって、学生指導や課外活動の指導等に忙殺されて研究をしている時間がないじゃないか、とこの怒りをどこにぶつけたらいいんだ、と考えられたことはないでしようか？

- ・高専で、教育と研究のバランスをどんなふうにとつていけばいいのだろうか。
- ・専門の研究に加えて、授業方法の研究はなぜ必要なのだろうか。
- ・そもそも高専で研究が必要である理由はなんだろうか。
- ・研究時間を捻出する巧妙な方法はないだろうか。
- ・研究を継続的に続ける工夫はないだろうか。

等々、皆さんで話し合って、教育と研究のバランスについて、知恵を出し合うワークショップを開催したいと思います。

（当日の状況）

参加者 15 名 P.M. 1:30～2:30

3 グループに分かれての意見交換後、各グループ代表者により発表があった。



# 教育と研究のバランス

## 教育と研究のバランスに関するWS

- 皆さんは、福井高専に赴任した際、今までやってきた研究を継続的に行いたいと思っておられたのではないでしょか？
- でも、実際に授業が始まって、学生指導や課外活動の指導等に忙殺されて研究をしている時間がないじゃないか、とこの怒りをどこにぶつけたらいいんだ、と考えられたことはないでしょか？
- 高専で、教育と研究のバランスをどんなふうにとつていけばいいのだろうか。
- 専門の研究に加えて、授業方法の研究はなぜ必要なのだろうか。
- そもそも高専で研究が必要である理由はなんだろうか。
- 研究時間を捻出する巧妙な方法はないだろうか。
- 研究を継続的に続ける工夫はないだろうか。

## グループワーク

- 4, 5人のグループを作ってください。  
年齢が偏らないように分かれてください。  
**ネガティブな話ではなく、ポジティブな意見交換をお願いします**
- 教育（校務）と研究のバランスはどれくらいですか？  
例） 教育5：研究5、教育9：研究1など
- バランスがうまく取れている人はいますか？  
自分を含めて、周りの教員で
- 研究は1人でやっていますか？  
学内の教職員、学外との共同研究を行っていますか？
- 研究を進める上で困っていることは何ですか？  
解決方法をみんなで考えましょう。

<FD 研修会開催通知>

令和 5 年 10 月 12 日

教職員 各位

教務主事  
創造教育開発センター長

令和 5 年度 FD 研修会（教務システム運用説明会）の開催について

のことについて下記のとおり開催しますので参加願います。

記

内 容：教務システム機能の説明及び点数等の入力

新しい教務システムの機能の説明及び点数等の入力の研修会を実施します。昨年度も機能については概要を説明していますが、今年度は、実際に担当科目の確認を行い、今後、後期の成績入力を行う予定です。加えて、新たに導入を検討中の Web における出欠管理機能についても実際に試行していただきます。加えて、学生の指導要録登録や閲覧機能についても説明しますので、可能な範囲で Wifi 接続可能な PC をご持参ください。（30～45 分程度）

なお、この説明会は今回の説明会のご意見をふまえた上で、11月の教員会議終了後にも実施予定です。

日 時：令和 5 年 10 月 25 日（水）教員会議終了後すぐを開催します。

16:30～17:15（予定）

開催場所：大講義室

対象者：教職員

参加申込：当日受付

その他：マニュアルをご準備ください。

※説明会前に実際に入力等の作業をしていただいても問題ありません。

<FD 研修会開催通知>

令和 5 年 1 月 1 日

教職員 各位

教務主事  
創造教育開発センター  
一長

令和 5 年度 FD 研修会（第 2 回教務システム運用説明会）の開催について  
のことについて下記のとおり開催しますので参加願います。

記

内 容：後期中間学力確認週間における特別時間割の作成及び点数等の入力準備

前回 (R5.10.25) 実施した新しい教務システムの機能の概要をおさらいします。その後、試験期間中の出欠管理機能を有効にするために、先日教務係より配付した中間学力確認週間時間割に基づき各担当科目の時間割の作成方法を説明します。説明会終了後、後期中間学力検査の時間割り、試験終了後には成績入力（試験を行わない場合は欠課時数の入力）を行ってください。

あわせて、教務システムを学生カルテとしての活用した場合の検討内容及び要望事項等を確認したいと考えております。

前回同様、可能な範囲で Wifi 接続可能な PC をご持参ください。（15～30 分程度）

日 時：令和 5 年 11 月 22 日（水）教員会議終了後すぐに開催します。

16:30～17:00（予定）

開催場所：大講義室

対象者：教職員

参加申込：当日受付

その他：マニュアルをご準備ください。（教職員 Teams にあります。）

※説明会前に実際に入力等の作業をしていただいても問題ありません。

# WebClass利用説明会

3月14日（木）15:30～16:30

## WebClassとは？

WebClass は LMS (学習管理システム) で、Web ブラウザを通して授業資料の配布、オンライン上のテスト、課題提出、アンケートなどを行うことができます。



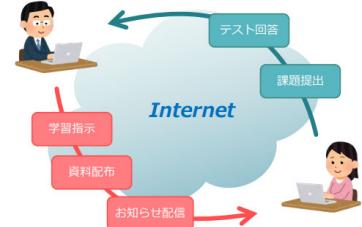
## WebClassへのログイン

- 以下のページにログイン  
<https://webclass.kosen-k.go.jp/>



## WebClassとは？

WebClass は LMS（学習管理システム）で、Web ブラウザを通じた授業資料の配布、オンライン上のテスト、課題提出、アンケートなどを行うことができます。



推奨ブラウザ： Firefox 122 / Firefox ESR 115 / Google Chrome 122 / Microsoft Edge / Safari 16, 17 (17.1を除く)  
スマートフォン・タブレット： Android 8～上の Chrome ブラウザ / iOS 16～17 および iPadOS 16～17 の Safari

## WebClassの資料

ICT勉強会フォルダの資料

- [WebClassコース管理者マニュアル.pdf](#)
  - [WebClassユーザマニュアル.pdf](#)
  - やりたいことから参照できるWebClassの使い方.pdf
  - [他大学教材作成マニュアル（参考資料）](#)

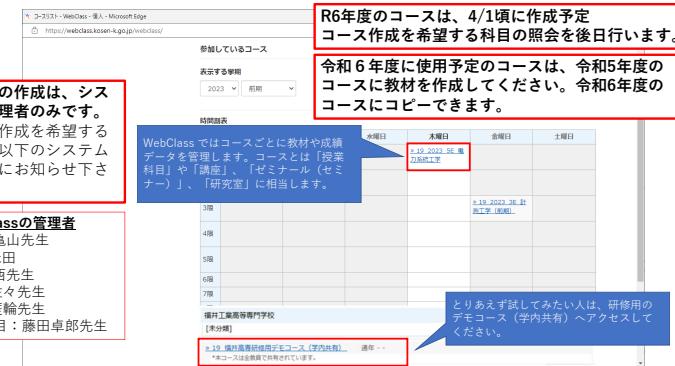
## リンク

- ・[日本データパシフィック株式会社](#) (WebClassページ)
  - ・[WebClass R&Dチームサイト](#)
  - ・[WebClass Fan](#)

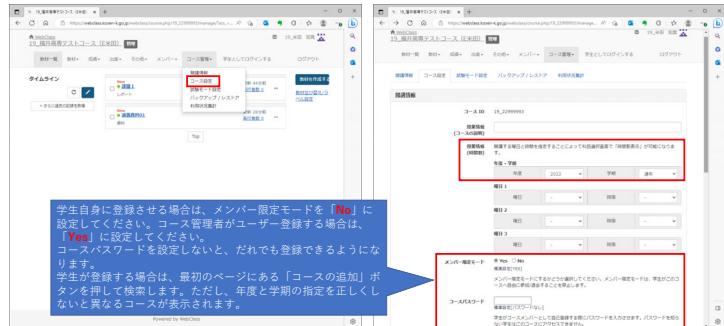
Youtube

- 日本データパシフィック

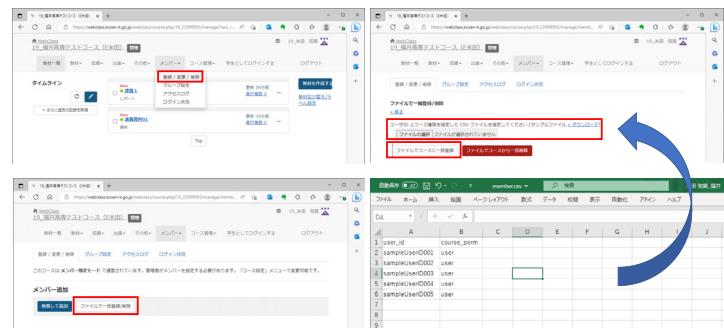
## WebClassのトップページ



## コースの設定



## ユーザーの一括登録

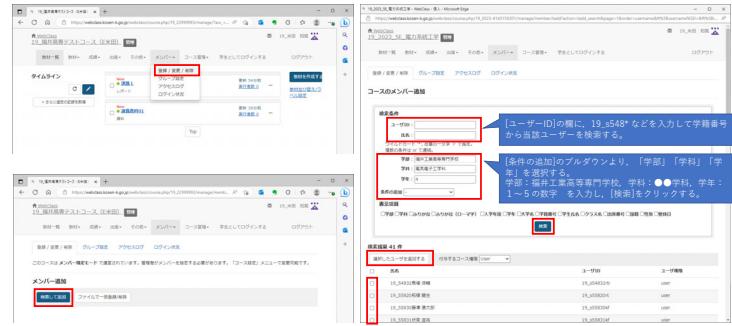


## コースのコピー



## ユーザーの登録

新2～5年生の学生の登録も4/1頃に作成予定  
1年生は少し遅れます。



## コースのコピー

コースのコピーは、コース管理者（科目担当者）が実施



## 教材の作成



## 教材の作成（資料）

教材の作成（資料）

「教材を作成する」をクリック

## 教材の作成（資料）

教材を作成する

教材 オプション設定

① (必須) タイトル: **講義資料01**

② 資料作成-ページ構成: **資料作成-ページ構成**

【資料作成一括取り込み/SCORM教材】は、あらかじめ用意していたzipファイルやSCORM教材を取り込んで教材を作成します。  
一括取り込みする場合のサンプルファイルは、画面右上のアイコン-マニュアル内にあります。

## 教材の作成（資料）

教材 作成/編集

【前のページ】 [次のページ] タイトル: 第1章 タイトルに切り替える

取り込みファイル: ③ PDFファイルとして使う ④ 保存

ここに配布資料をアップロードする。

- Word形式、Tex形式のファイルはHTML形式に、PPT形式のファイルはPDF形式に変換されます。ただし、完全に変換されないので、注意が必要。
- 正しく表示させたい場合は、PDFファイルまたはHTMLファイルを使用。
- MathJaxを利用したHTMLファイルを作成すると数式を表示させることができます。

## 教材の作成（資料）

教材 1 ページ

取り込みファイル: ⑤ 23E2電気回路1.BJ講義ライド29.pdf

複数の電源を含む回路において、任意の場所に流れる電流を求めることができる定理

複数の電源で構成されている回路」を「電圧源  $V_0$  と抵抗  $R_0$  が直列接続されている等価回路」に変換することができます。

$V_0$  と  $R_0$  が直列接続されている等価回路

## 教材の作成（資料）

HTMLタグを用いてSharePointに保存した動画のリンクを埋め込むことも可能

交流回路における重ね合わせの理とテブナンの定理

## 教材の作成（テスト）

「教材を作成する」をクリック

教材を作成する

① 「テスト」をクリック

② テストを作成します。Hotpotatoes教材もこちらから取り込みます。

## 教材の作成（テスト）

テストの実施期間、回数、表示方法、採点・欠課表示などを設定できる。

## 教材の作成（テスト）

## テストレビュー

## 教材の作成（テスト）

有效数字2

## 教材の作成（テスト）

提出されたアンケート／レポートの公開  する  しない  
ピアレビュー  する  しない 各ユーザが  人分のレポート／回答をチェックする。

## 教材の作成（テスト）

人力  
使用可能

なる。

## テストの実施

別題 終了

▶ 19\_2023\_3E\_計算工  
等(問題)

洋田 19.米田 知恵

[前のページ] 次のページ

終了

期間 2023-04-28 13:00

別題 終了

▶ 19\_2023\_3E\_計算工  
等(問題)

洋田 19.米田 知恵

[前のページ] 次のページ

終了

表示に問題があるときは **別窓で**開いてください。

100個の抵抗素子を5回測定したとき、 $x_1=99.4\Omega$ 、 $x_2=99.6\Omega$ 、 $x_3=100.2\Omega$ 、 $x_4=99.8\Omega$ 、 $x_5=100.1\Omega$ が得られた。このときの(1)平均値 $\bar{x}$ を有効数字3桁で求めよ。(2)偏差 $D$ 、(3)分散 $s^2$ 、(4)標準偏差 $s$ を有効数字2桁で求めよ。

期間 2023-04-28 13:00

問 1

問 2

問 3

問 4

問 5

問 6

問 7

問 1

問 2

問 3

問 4

問 5

問 6

問 7

(1) [ ]

[前のページ] 次のページ

終了

(1) [ ]

(2) [ ]

(3) [ ]

(4) [ ]

[前のページ] 次のページ

終了

28

## テスト結果の表示

## テスト結果の表示

## テスト結果の表示

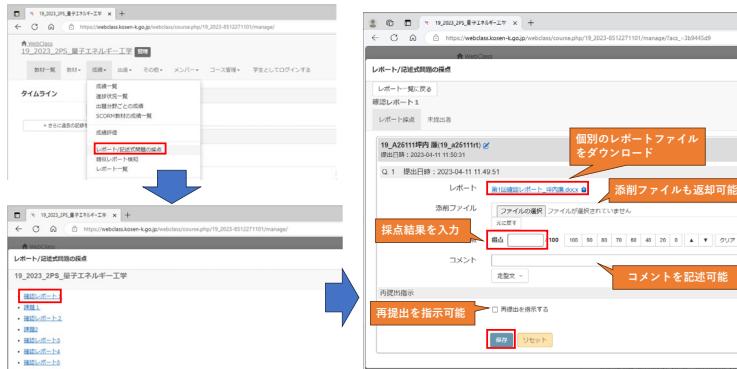
## 教材の作成（テスト）

## 教材の作成（テスト）

## テスト結果の表示



## レポート課題の評価



## WebClassにない課題や定期試験の成績の入力

## 1. レポート課題を作成

- 採点画面を表示
  - 【未提出者を表示】ボタンをクリック  
・誰も提出していないので受講生全員のリストが表示される
  - 【一括でブランクレコードを生成】ボタンをクリック  
・全員がレポートを提出した状態になり、採点の点数を入力できるようになる  
・個別でブランクレコードを作成することもできる
  - 採点結果を入力  
・個別で入力したり、Excelを利用して点数を登録



WebClassにない課題や定期試験の成績の入力

## 1. レポート課題を作成

## 2. 採点画面を表示

3. 【未提出者を表示】ボタンをクリック  
• 誰も提出していないので受講生全員のリストが表示される
  4. 【一括でプランクレコードを生成】ボタンをクリック  
• 全員がレポートを提出した状態になり、採点の点数を入力できるようになる  
• 個別でプランクレコードを作成することもできる
  5. 採点結果を入力  
• 個別で入力したり、Excelを利用して点数を登録



## WebClassにない課題や定期試験の成績の入力

## 1. レポート課題を作成

## 2. 採点画面を表示

3. 【未提出者を表示】ボタンをクリック
    - 誰も提出していないので受講生全員のリストが表示される
  4. 【一括でブランクレコードを生成】ボタンをクリック
    - 全員がレポートを提出した状態になり、採点の点数を入力できるようになる
    - 個別でブランクレコードを作成することもできる
  5. 採点結果を入力
    - 個別で入力したり、Excelを利用して点数を登録



WebClassにない課題や定期試験の成績の入力

## 1. レポート課題を作成

## 2. 採点画面を表示

3. 【未提出者を表示】ボタンをクリック
    - 誰も提出していないので受講生全員のリストが表示される
  4. 【一括でプランクレコードを生成】ボタンをクリック
    - 全員がレポートを提出した状態になり、採点の点数を入力できるようになる
    - 個別でプランクレコードを作成することもできる
  5. 採点結果を入力
    - 個別で入力したり、Excelを利用して点数を登録



## WebClassにない課題や定期試験の成績の入力

## 1. レポート課題を作成

## 2. 採点画面を表示

3. 【未提出者を表示】ボタンをクリック  
• 誰も提出していないので受講生全員のリストが表示される
  4. 【一括でプランクレコードを生成】ボタンをクリック  
• 全員がレポートを提出した状態になり、採点の点数を入力できるようになる  
• 個別でプランクレコードを作成することもできる
  5. **採点結果を入力**  
• 個別で入力可  
• **成績データのダウンロード**  
• 成績データの入力 & データの読み込み



WebClassにない課題や定期試験の成績の入力

1. レポート課題を作成
  2. 採点画面を表示
  3. 【未提出者を表示】ボタンをクリック  
・誰も提出していないので受講生全員のリストが表示される
  4. 【一括でプランクレコードを生成】ボタンをクリック  
・全員がレポートを提出した状態になり、採点の点数を入力できるようになる  
・個別でプランクレコードを作成することもできる
  5. 採点結果を入力  
・個別で入力可  
・成績データのダウンロード  
・成績データの入力 & データの読み込み

レポート/問題報告の提出

レポート一覧に戻る

課題登録用

レポート提出

主担当者

データの読み込み

12 10/23, 2023, 関エヌルギー工業 (学年) ▼ ☐ 番号:ユーザのみ ☐ 番号と名前 ☐ デスクを含む

主担当者

読み込み

読み込み用件

件名:電気工事、並びに、ヨーナー

結果:失敗 (2024/03/13 22:46:38)

レポート一覧戻る

ファイル出力

失敗結果の読み込み

1 2 3 4 5 6 7 8

「S\_055」(電子手帳)失敗 (2024/03/13) :

提出日:2024/03/13 22:46:38

Q. 1 電気工事 (2024/03/13 22:46:32)

レポート

未提出

添付ファイル

ファイルの選択 (ファイルが選択されていません。)

提出

提出

コメント

このコードは、19\_yonederによって生成されました。

登録文

## テスト結果の表示

## 疑似レポート検知

## 操作手順

提出されたWordやPDFファイルの内容を比較して、類似度の高いレポートを教えてくれる機能

1. コースメニューから【成績】→【類似レポート検知】を選択
  2. 【テスト/アンケート教材の回答】を選択
  3. 「対象教材：」のプルダウンメニューから検知したい教材を選択
  4. 【処理を開始する】ボタンをクリック
  5. 「ジョブ一覧」が表示されるので、「ジョブの状態」が【結果を見る】ボタンになるまで1分程度待つ
  6. 【結果を見る】ボタンをクリック

## 検知結果

スコアが高いほど類似している(70以上は酷似)  
課題によってスコアが高くなりやすい場合もある

新規レポート検索

ジョブ一覧

| ジョブID | ジョブ名 | 登録日時                | 実行日時 |
|-------|------|---------------------|------|
| 1     | 新規登録 | 2018-08-23 15:19:10 |      |
| 2     | 完了   | 2018-08-23 17:20:26 |      |

新規ジョブ登録

新規登録情報を入力してください。

データ登録

データ登録が成功しました。

新規レポート検索結果

| レポートID | レポート名 | 登録日時                | 実行日時 |
|--------|-------|---------------------|------|
| 1      | 新規登録  | 2018-08-23 15:19:10 |      |
| 2      | 完了    | 2018-08-23 17:20:26 |      |

インターネットを検索して類似文を探してくる機能ではない

## 教材の作成（アンケート）

The screenshot shows the 'About' page of the Windows 10 Settings app. The 'About' section is highlighted with a red box, showing details like 'Windows 10 Home' and 'Build 10586'. Below it, the 'Windows Update' section is also highlighted with a red box, showing a history of updates. The page includes sections for 'System', 'Windows Update', 'Windows Help and Support', and 'Feedback'.

## 教材の作成（アンケート）

## 教材の作成（アンケート）

## 成績一覧の表示

## その他の機能

### ・ユニットの作成

ユニットとは、あらかじめ作成した「資料」「テスト」「アンケート」「掲示板」などを自由に組み合わせることが出来る教材です。数種類の教材をまとめて配布し、段階的な学習を行わせる必要がある時などに有効です。

### ・会議室

「会議室」は学生内や、教員と学生間でテキストでの意見交換を行なう教材で、掲示板・チャット・Wikiといったインターネット上のコミュニケーションツールとして使われる機能が提供されています。

### ・出席管理

スマートフォンやパソコンから出席管理機能が利用できます。

### ・お知らせ・メッセージ

最新のお知らせやメッセージを確認したり、配信することができます。アイコンには通知件数が表示されます

## その他の機能

### ・eポートフォリオ・コンテナ機能

eポートフォリオ・コンテナの大きな特徴は「学習と評価の一体化」と「学習プロセス」を保存し可視化出来る点です。

### ・学習記録ビューア

学習記録ビューアは、WebClassに蓄積された学習履歴や大学での活動データを集め、振り返りをサポートする情報管理プラットフォームです。

### ・「修学カルテ」機能

修学カルテは、高専での学修について、教員のレビューを受けながら、学生が定期的に目標の設定と達成の振り返りを行うためのツールです。

### ・「学修成果可視化」機能

入力された各データを集計して学修の到達度を可視化するシステムです。

## WebClassとは？

WebClassはLMS（学習管理システム）で、Webブラウザを通じた授業資料の配布、オンライン上のテスト、課題提出、アンケートなどを行うことができます。

## WebClassの資料

### ICT勉強会フォルダの資料

- [WebClassコース管理者マニュアル.pdf](#)
- [WebClassユーザマニュアル.pdf](#)
- [やりたいことから参照できるWebClassの使い方.pdf](#)
- [他大学教材作成マニュアル（参考資料）](#)

### リンク

- [日本データパシフィック株式会社](#) (WebClassページ)
- [WebClass R&Dチームサイト](#)
- [WebClass Fan](#)

### Youtube

- [日本データパシフィック](#)

日 時：3月15日（金） 13:00～14:40

参加者：藤田教務主事、米田創造教育開発センター長含めて19名

一般科目教室教員が多い

内 容：藤田教務主事の挨拶の後

相場先生 オーソドックスな授業

米田先生 Webclass の活用

藤田卓先生 スタディサプリについて

報告を行ったあと、4グループに分かれてグループワークを実施し、M 高橋先生、

E 福嶋先生、G 中谷内先生、C 古谷先生が発表した。



＜FD研修会開催通知＞

令和6年2月19日

教職員 各位

教務主事  
創造教育開発センター長

令和5年度FD研修会（授業方法におけるワークショップ）の開催について  
このことについて下記のとおり開催しますの皆様のご参加をお待ちしています。

記

内 容：授業方法における事例の紹介とワークショップ

近年は多様な学生が在籍しており、学生の指導が難しくなってきています。それは授業についても同じことを言えると思います。本ワークショップは、授業の方法や小テストのやり方、試験の実施方法及び学生へのフォローの仕方など様々な面から議論を行い、新学期からの指導に役立てるこことを目標としています。

研修会ではまず、3名の先生に実際に行っている授業方法についてご紹介いただきます。その後、参加者を複数のグループに分けてワークショップを行い、授業方法について議論とその内容の発表を通して全体で共有することで理解を深めたいと考えています。

日 時：令和6年3月15日（金） 13:00～14:30（予定）

開催場所：大講義室

対象者：教職員（事前申し込みは不要です。）



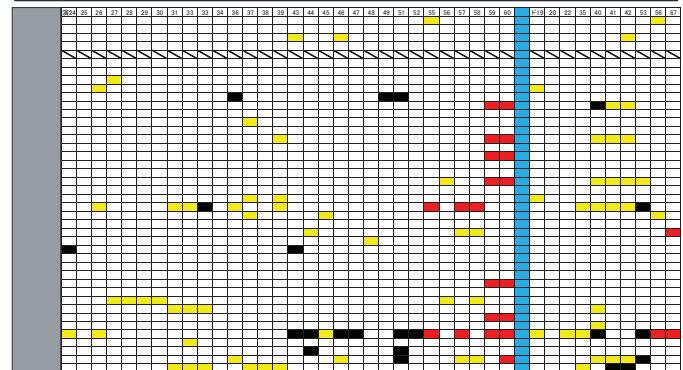
## 成績評価と再試験

- 試験80% 課題20%

- 今年度、解析Iは各定期試験ごとに再試験を実施

- 再試験を受験するための2条件
  - ・課題を全て提出（提出状況は適切なタイミングで案内）
  - ・受験するかどうかをformsで回答
- \* 課題を全て提出する必要があるため課題点は高い
- \* 再試験を受験しないと判断する学生も複数いた  
(理解できていない部分をもう一度やり直したい)

## 課題提出状況（例 後期）



7

8

## 授業形式（今年度の2M・2E 解析）

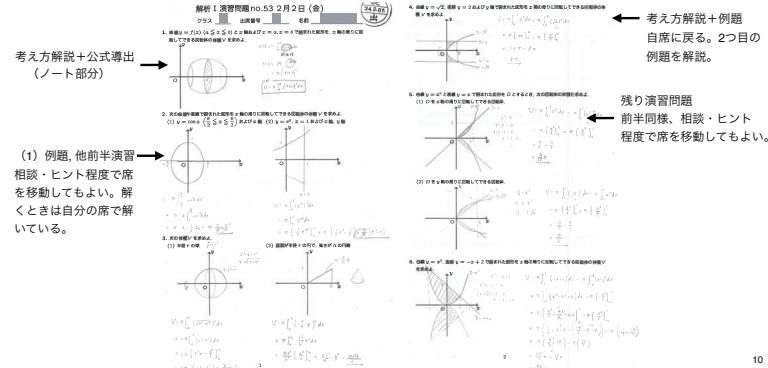
- 説明・例題解説 → 問題演習

- 演習プリントが課題
- 1コマ1枚程度の量（授業中に7, 8割は終わる量）
- 説明・例題（ノート部分）も演習プリントの一部とした
  - ノート+課題で1枚 → 一週間後の授業で提出

### 問題演習中

- 苦手な学生が1人で考えても解決しないため席移動自由（ヒント程度）
- 自分もクラス全体を周りながら質問受付 **基本的に自席で解いている**
- できる学生が積極的に周りに教えていたので非常に助かった  
(他の学生も真面目に取り組んでくれた)

## 問題量（1コマ）



9

10

## 終わり

- 思っていたよりもかなり遅くしてちょうどよかった
- 小学校・中学校の内容で理解があやふやな学生の問題は解消できていない

11

## スタディサプリについて

一般科目教室 藤田 阜郎

### スタディサプリとは

- ・株式会社リクルートが提供するeラーニングサービス
  - ・小学校レベルから大学受験レベルまでの授業動画・基礎的な演習問題がある
  - ・講座に応じた簡単な演習問題集が提供されている
  - ・到達度テストが提供されている
- ・本校は1年生を対象に実施
  - ・3月から4月：新入生を対象に春休み課題Assignmentを実施
  - ・4月：到達度テストの実施（英数国）
  - ・5月：到達度テストの結果に連動した中学校復習課題を1年生全員に実施
  - ・6月～7月：試験範囲に該当する教材を周知・配信（英・数・物・化）
  - ・夏休み・春休み課題（数学・英語）
- ・前提
  - ・授業の主たる教材として活用はしていない（シラバスと合わない点もあり）
  - ・スタサブ導入→成績向上ではなく、学習環境整備・データ収集として活用

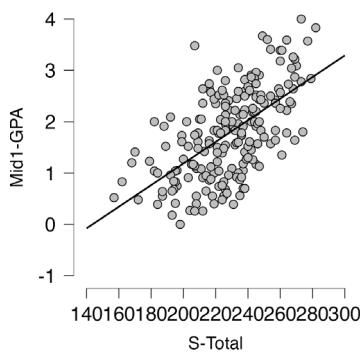
### スタディサプリの活用状況（前期）



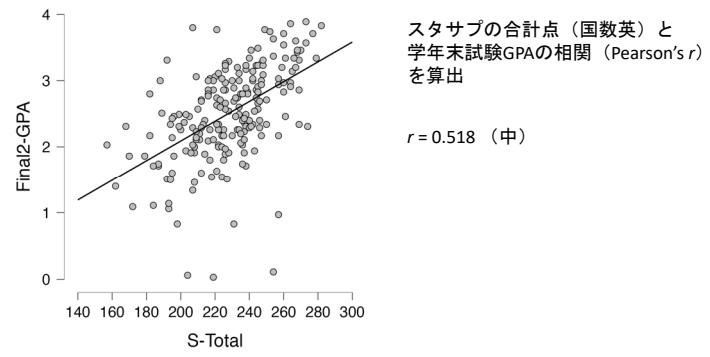
### スタディサプリの活用状況（前期）

|             | <i>r</i> | <i>p</i> | 相関の程度 |
|-------------|----------|----------|-------|
| スタサブ（SS）－中間 |          |          |       |
| SS国語－中間国語   | .228     | <.001    | 弱     |
| SS数学－中間解析A  | .470     | <.001    | 中     |
| SS数学－中間解析B  | .306     | <.001    | 弱     |
| SS英語－中間英語   | .678     | <.001    | 中     |
| スタサブ（SS）－期末 |          |          |       |
| SS国語－期末国語   | .288     | <.001    | 弱     |
| SS数学－期末解析A  | .474     | <.001    | 中     |
| SS数学－期末解析B  | .315     | <.001    | 弱     |
| SS英語－期末英語   | .709     | <.001    | 強     |

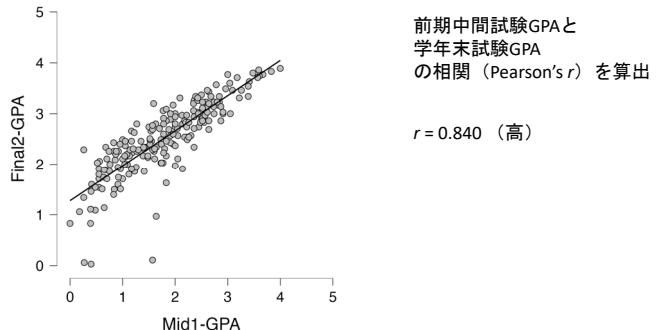
### スタディサプリ（点数）と前期中間（GPA）



### スタディサプリ（点数）と学年末（GPA）



## (参考) 前期中間 (GPA) と学年末 (GPA)



# FDワークショップ

授業方法について

## 私の担当授業について

- 担当しているすべての授業でWebClassを使用
  - 講義資料をすべて公開
  - 課題提出・小テストも基本すべてオンライン
  - 定期試験、課題点をすべて学生に開示
- 追試験を実施しないことを基本としていたが・・・
  - シラバスに示している学習内容を十分理解していれば合格逆に言えば、学習内容が理解できていなければ不合格
  - 持ち込みありで基本的な内容を確認するための追試験をしても合格できない→理解していない
- 電気回路Iの追試験に学習効果があるのか?
  - 2年生の電気回路Iは基本科目のため、合格するまで追試験を実施R4年度は25回、R5年度は17回実施（全く理解していない学生も…）
  - ギリギリ合格した学生は、3年生でも頑張っている。電気電子工学科では2年生の基本科目の理解が不十分だと、上の学年では厳しい

## 電力エネルギー工学の授業内容と進め方

- 配布資料を中心に授業を進め、電力工学の基本的な事項について説明する。  
毎回の確認レポートと課題を課す。
- 講義資料の配布やレポートの提出については、WebClassを用いて実施する  
<https://webclass.kosen-k.go.jp/webclass/>
- 成績評価：期末試験30%，課題70%  
(確認レポート30%、課題40%)
- 3回以上の欠席で欠席超過となる（2回まで）
- 実施教室：大講義室、A-LAB

## 担当科目

- 専門基礎I（1年）
- 電気回路I（2年）
- 計測工学（3年）
- 電力エネルギー工学（学際3年）
- 電力系統工学（5年）
- 工学倫理（5年）
- 量子エネルギー工学（専攻科2年）
- 電子創造工学（3年）
- 電気電子工学実験III（4年）
- 生産システム工学実験I（専攻科1年）

## 2年生 WebClassの電気回路Iコース

## 電力エネルギー工学の授業内容

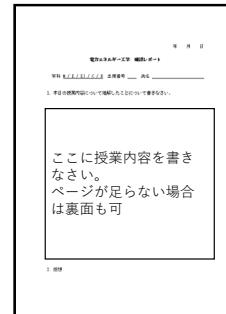
- 電力利用の歴史と今後の展望  
過去の電力利用、電力利用の現状と将来
- エネルギー資源と環境  
エネルギー資源、日本のエネルギー事情、環境問題
- 発電  
水力発電・火力発電、原子力発電、新エネルギー
- 電気エネルギーの伝送  
送電方式、変電所の役割・分類、配電系統
- 電気エネルギーの貯蔵  
電気エネルギー貯蔵の必要性、揚水発電、超電導エネルギー貯蔵

## 3年生 電力エネルギー工学コース

講義資料の配布は行いませんので、各自でダウンロードして閲覧（授業時のPC、タブレット、スマホの使用可）  
授業週の月曜日までは講義資料をアップします。

毎回確認レポートを授業終了後にWebClassへ提出  
授業終了後からオンラインの課題を実施  
授業内容についての選択問題、計算問題の小テスト形式や講義内容に関連したレポートなど  
講義資料にない問題もあります。  
小テスト形式の課題は期限後はアクセスできません（締め切り厳守）

## 確認レポート



- 初回授業のみ配布。2回目以降は各自で印刷したものを用意するか、A4レポート用紙に記入して、**授業終了時に提出**
- 2枚以上のは、すべての用紙に名前とページ番号を記入し、ホッチキス止めはしない
- 成績評価の30%に相当
  - 内容が少ない場合や内容が異なる場合は減点します
  - 前半の内容のみなど授業で重要な点が含まれない場合も減点します。

## 課題

授業毎に課題テストを実施  
選択問題を10問程度  
成績評価の40%に相当

## グループワーク

### グループワーク (授業方法について)

- 自分の授業方法のキーワードを付箋紙に書いてみよう

### グループワーク (授業方法について)

- 自分の授業方法のキーワードを付箋紙に書いてみよう
- 付箋紙のグループ化をしましょう

|  |   |
|--|---|
| <p>グループワーク<br/>(授業方法について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の授業方法のキーワードを付箋紙に書いてみよう</li> <li>・付箋紙のグループ化をしましょう</li> <li>・書いたものをみんなで見て、グループで話をしましょう</li> </ul>  | <p>グループワーク<br/>(授業方法について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の授業方法のキーワードを付箋紙に書いてみよう</li> <li>・付箋紙のグループ化をしましょう</li> <li>・書いたものをみんなで見て、グループで話をしましょう</li> <li>・<b>自分の授業の良いところ、気になるところを付箋紙に書いてみよう</b></li> </ul> |
| <p>グループワーク<br/>(授業方法について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の授業方法のキーワードを付箋紙に書いてみよう</li> <li>・付箋紙のグループ化をしましょう</li> <li>・書いたものをみんなで見て、グループで話をしましょう</li> <li>・<b>グループ内の授業方法をまとめてみよう</b><br/>(代表者1名が発表)</li> </ul> |   |

# 教員間ネットワーク会議

## 令和5年度教員間ネットワーク会議 出席者提出表(赤字が座長)

|   |                                 | (学科長確認)                |                        | (学科長確認)                  |                               | (学科長確認)                       |   |
|---|---------------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---|
| 所属学科・教室名<br>会議番号1, 2-3,<br>3, 4は、右記の<br>WG・打合せ会議で<br>兼ねる。 | 1.社会及び技術者倫<br>理に関するネットワー<br>ク会議 | 2-1.数学に関する<br>ネットワーク会議 | 2-2.物理に関する<br>ネットワーク会議 | 2-3.情報処理に関する<br>ネットワーク会議 | 3.専門・複合科目に<br>関するネットワーク会<br>議 | 4.デザイン教育に關<br>する ネットワーク会<br>議 | 5.コミュニケーション<br>教育に関するネットワー<br>ク会議 *プレゼンテーション教育を含<br>む |
| 座長  | 米田                              | 千徳                     | 挽野                     | 亀山                       | 山脇                            | 亀山                            | 野々村・西城  |
| 一般科目教室<br>(当該教科・科目)                                       | 木村・中谷内・川畑<br>(社会)               | 柳原・中谷<br>(数学・応用数学)     | 挽野・長谷川・土田<br>(物理・応用物理) | 相場・長水                    |                               | 長水                            | 木下<br>(英語・国語)   |
| 機械工学科   | 金田                              | 千徳                     | 村中                     | 亀山                       | 加藤・芳賀・亀山                      | 藤田・亀山                         | 高橋  |
| 電気電子工学科   | 米田                              | 荒川<br>(電気数学担当)         | 秋山<br>(強電系科目担当)        | 米田・丸山                    | 山本・米田・佐藤                      | 秋山・西城<br>(工学演習担当)             | 福嶋・西城   |
| 電子情報工学科   | 青山                              | 波多                     | 堀井                     | 川上・西                     | 斎藤・高久・西                       | 青山・川上                         | 小越  |
| 物質工学科   | 古谷                              | 川村                     | 西野                     | 佐々                       | 高山・山脇・佐々                      | 川村・松野                         | 後反・松井   |
| 環境都市工学科   | 大和                              | 蓑輪                     | 辻野                     | 大和                       | 樋口・辻野・奥村                      | 奥村・芹川                         | 野々村・吉田  |

\*学際科目担当者 \*プロジェクト演習担当者

# 各種アンケート

## 卒業生・修了生アンケート集計結果について（報告）

実施期間：令和5年8月7日～9月30日  
(お盆休みの帰省期間を含むようにして実施)

調査対象：令和元年度、2年度、3年度 本科卒業生及び専攻科修了生  
及び対象学生が就職・進学した企業・大学等

実施方法：郵送にて依頼し、文書に記載の URL 又は QR コードにより Microsoft Forms  
で回答する。

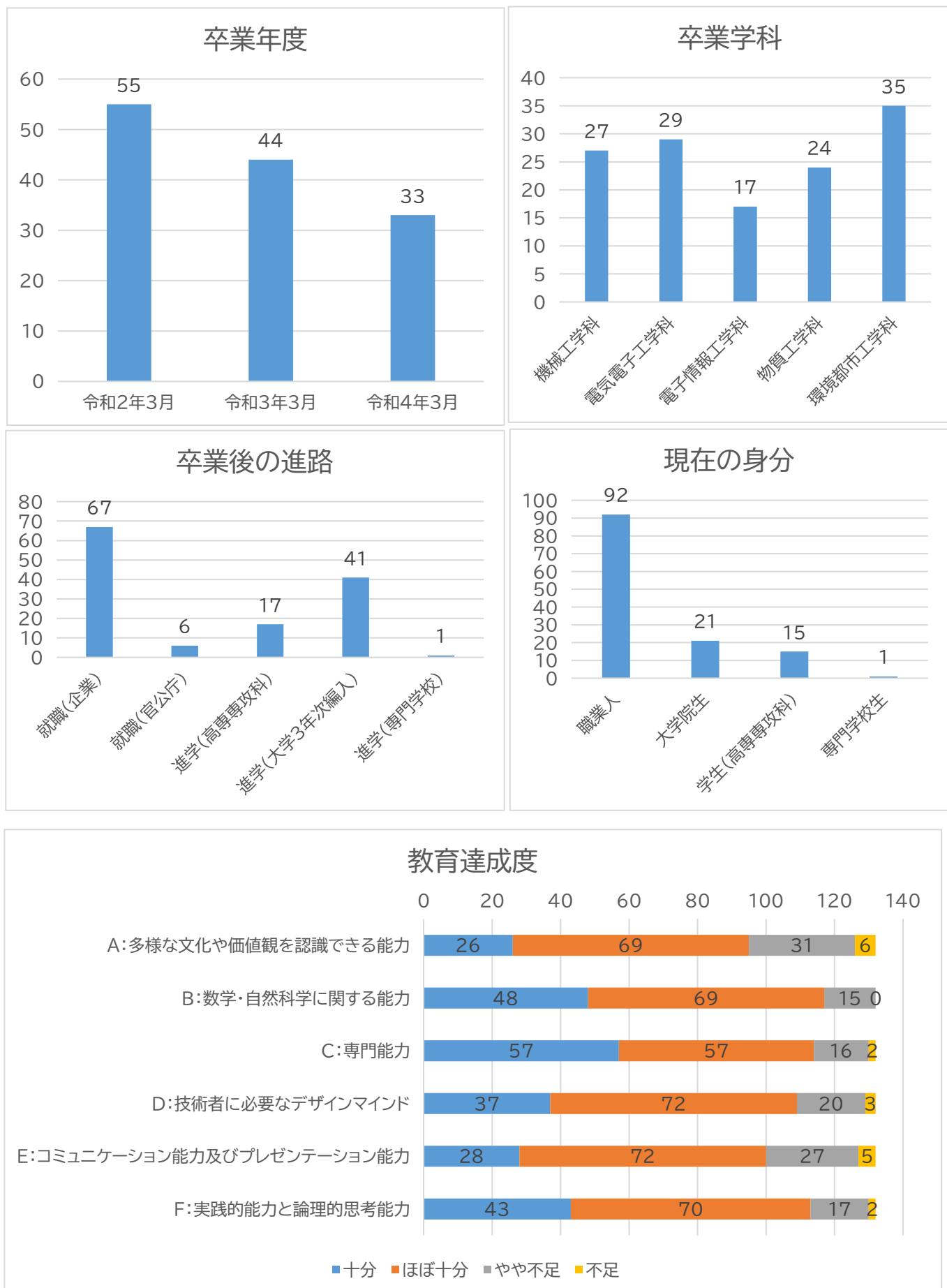
送付先：卒業生・修了生 本校在籍時の住所  
企業・大学等 所在地

回答率：卒業生・修了生 573名中 156名 ( 27.2%)  
企業・大学等 264社・校中 110名 ( 41.7%)

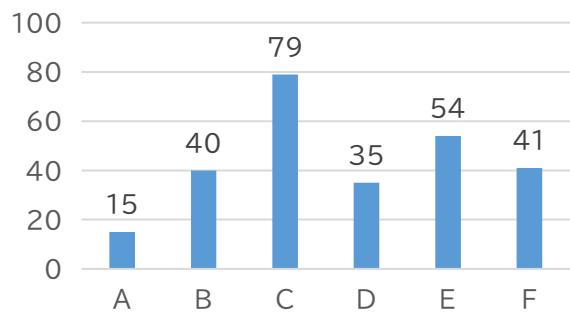
※宛先不明で返送されてきたものを除く

## 本科卒業生対象 アンケート結果 (R5.8実施)

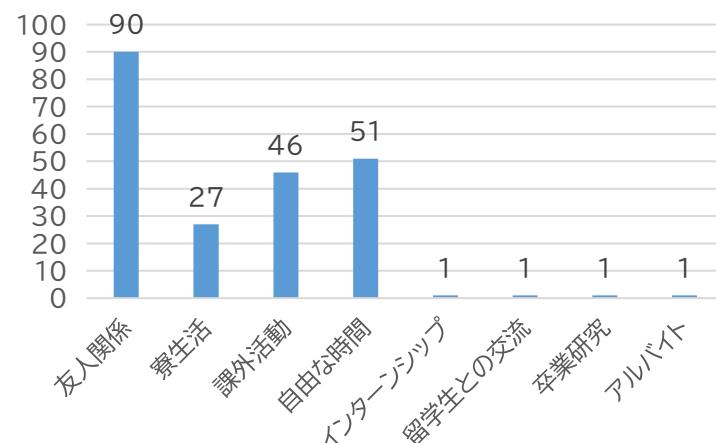
回答数132名



### 特に必要と思われる能力 (2つ選択)

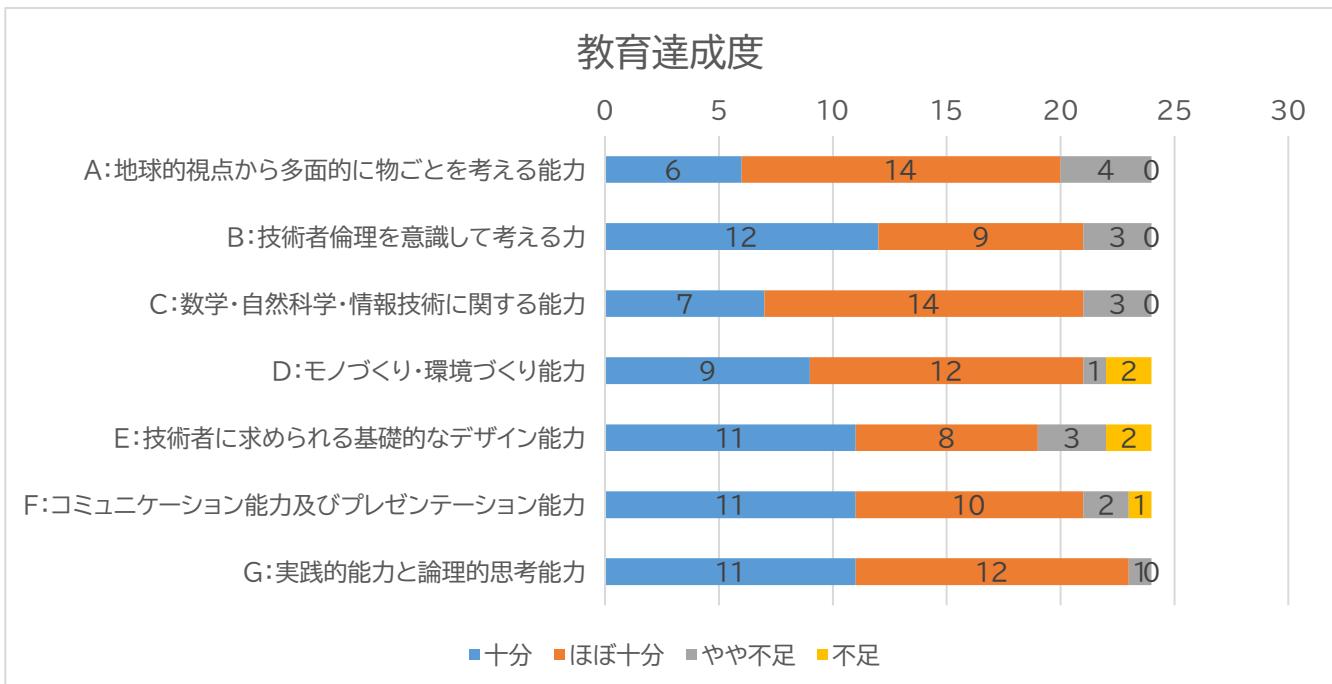
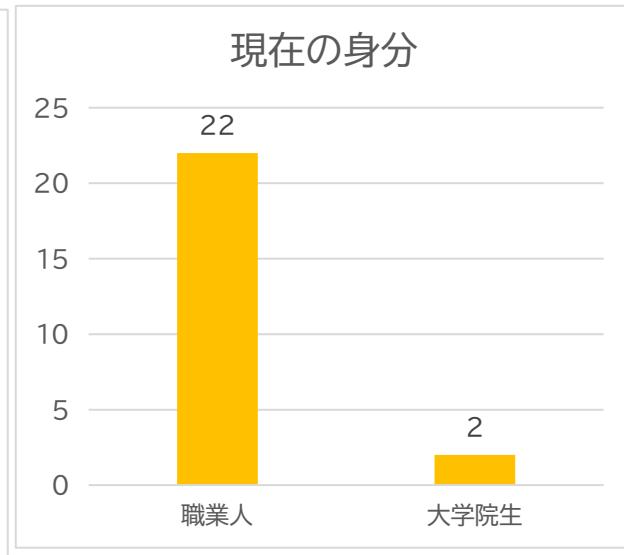
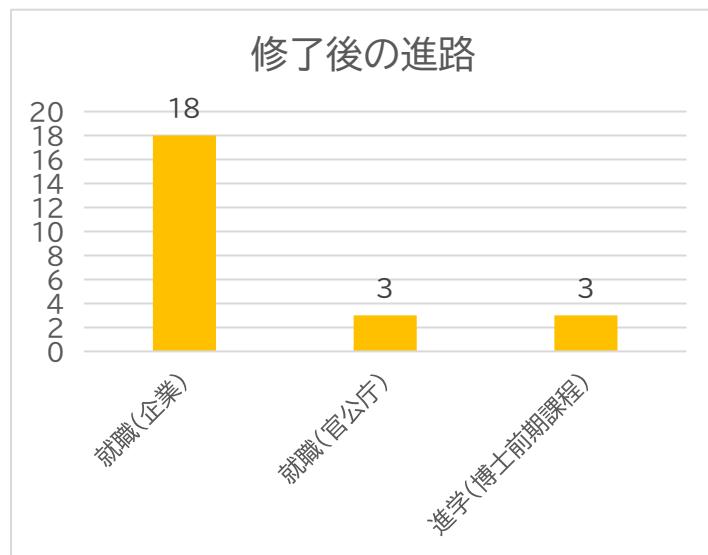
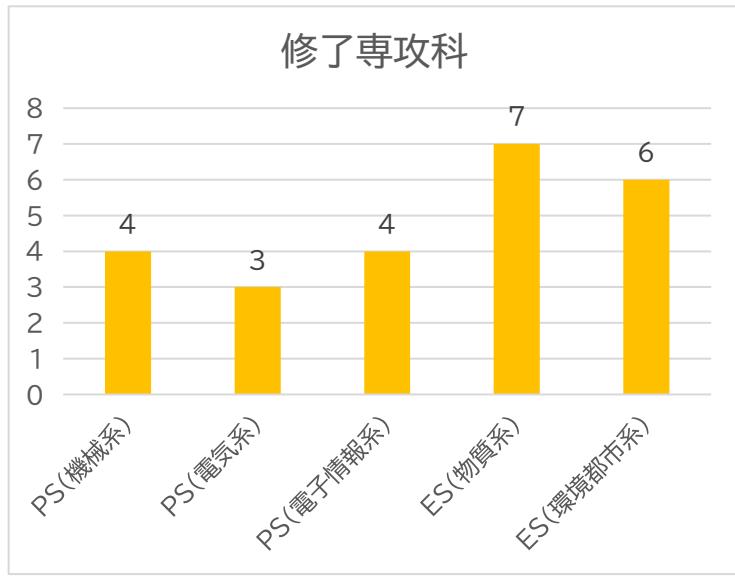


### 勉強以外で、卒業後に役立ったこと (複数選択可)

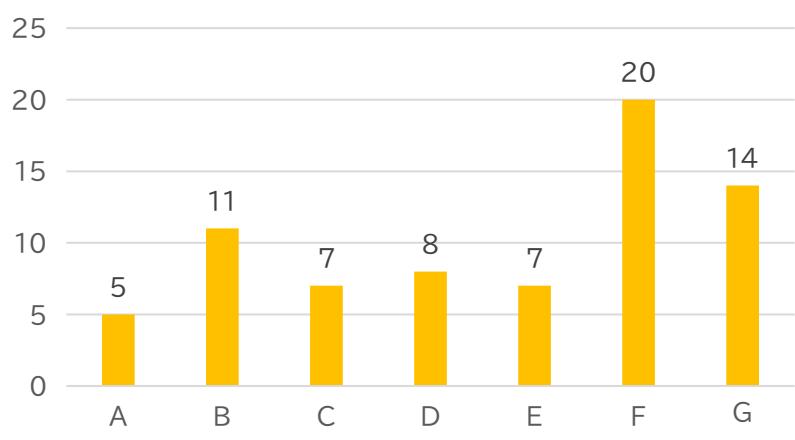


## 専攻科修了生対象 アンケート結果 (R5.8実施)

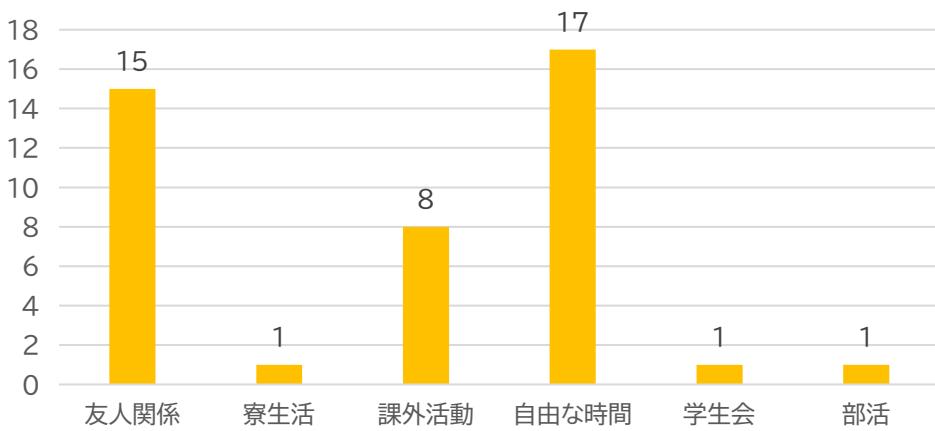
回答数24名



### 特に必要と思われる能力(3つ選択)



### 勉強以外で、終了後役立ったこと (複数選択可)

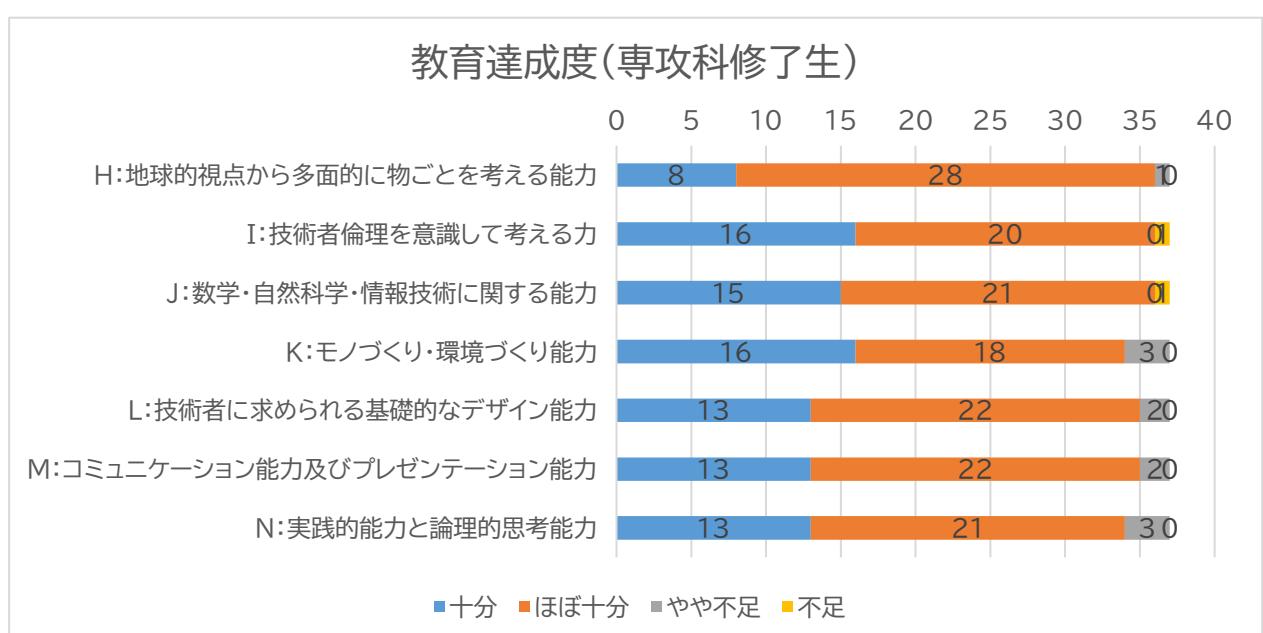
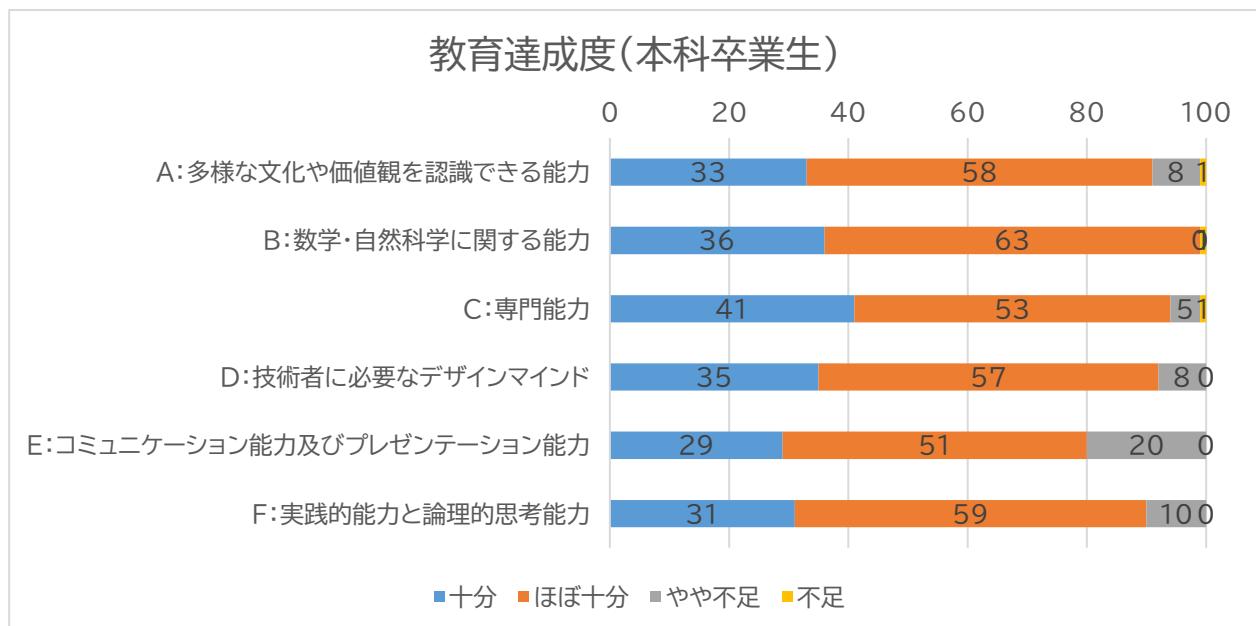


## 企業・大学対象 本校卒業生・修了生アンケート結果 (R5.8実施)

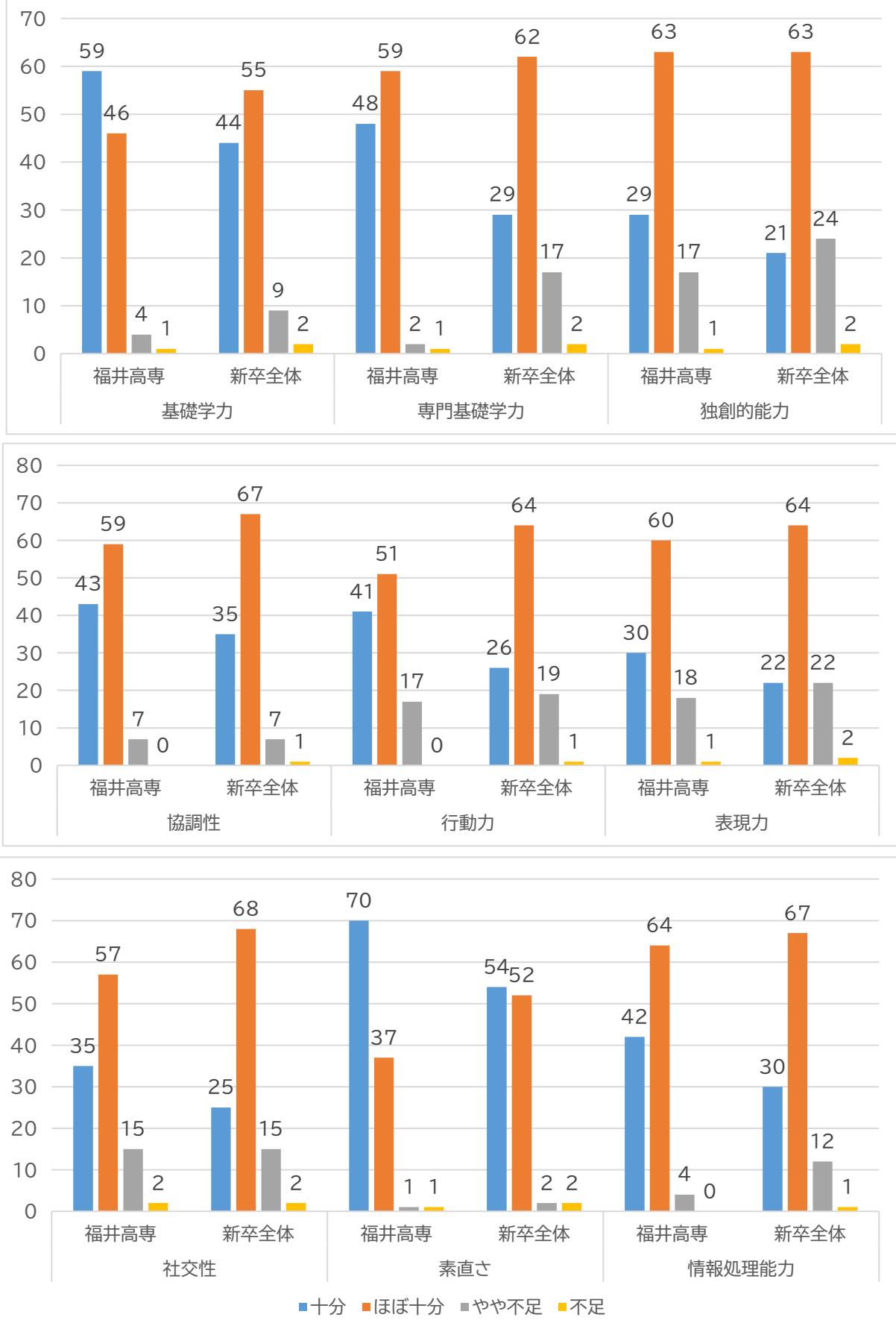
回答数103社・校

(本科卒業生在籍73社・校、専攻科修了生在籍10社・校 両方在籍27社・校)

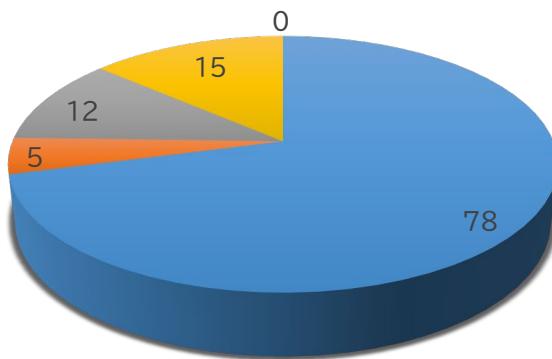
※卒業生・修了生別の設問は回答数 (110社・校) とは一致しません。



## 新卒採用者の印象(卒業生・修了生共通)



## 採用時に期待される語学力(英語) TOEICスコア



■点数は特に必要としない ■400点程度 ■500点程度 ■600点程度 ■700点以上

(Forms で作成。アドレス・QR コードは依頼文書及びセンターホームページに掲載)

## 【本科卒業生】 令和5年度福井工業高等専門学校 本校卒業生対象アンケート

1. 福井高専を卒業した年を選択してください。

- ①令和2年3月
- ②令和3年3月
- ③令和4年3月

2. 卒業学科を選択してください。

- ①機械工学科 ②電気電子工学科 ③電子情報工学科 ④物質工学科
- ⑤環境都市工学科

3. 卒業後の進路を選択してください。

- ①就職(企業) ②就職(官公庁) ③進学(高専専攻科) ④進学(大学3年次編入学) ⑤その他( )

4. 現在の身分に○を付けてください。

- ①職業人 ②学生(高専専攻科) ③学生(大学学部) ④専門学校生
- ⑤その他( )

5-1. 福井高専で受けた授業カリキュラムの中で、あなたが卒業するとき、以下A～Fの能力が実際に身についていたと思いますか。4段階で評価してください。

- A :「多様な文化や価値観を認識できる能力」
- B :「数学・自然科学に関する能力」
- C :「専門能力」
- D :「技術者に必要なデザインマインド」
- E :「コミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力」
- F :「実践的能力と論理的思考能力」

### 【対応する科目】

- A :歴史、倫理社会、政治経済、地理、第2外国語（ドイツ語・中国語）、音楽、美術、歴史学特講、哲学、言語文化特講、日本文学論など
- B :数学、物理、化学、生物、工学倫理、数理統計学、工学基礎物理、応用数学、数学特講など
- C :専門科目や卒業研究
- D :ものづくり関連科目や卒業研究
- E :国語、英語、コミュニケーション、国語表現、日本語表現演習。プレゼンテー

ション能力は、各科目における発表で育成

**F**：保健体育、工学実験、実習、卒業研究など

【関連する能力】

**A**：公共心、共感・受容、情報収集、情報分析、言語処理、非言語処理

**B**：工学基礎、情報収集、情報分析、非言語処理

**C**：専門基礎・技術

**D**：課題発見、情報収集、情報分析、計画立案

**E**：言語処理、非言語処理、感情抑制

**F**：計画立案、原因追及、自己理解、統率力、協働力、親和力

5-2 前の**A**～**F**のうち、福井高専を卒業してから特に役に立ったと思われるものを**2つ選択してください。**

6. 福井高専で受けた教育に対して、良かったと思う点を設備なども含めて聞かせてください。(具体的に:(例)実験実習が充実していたなど)

7. 福井高専で受けた教育に対して、欠けていたと思われる点を設備なども含めて率直にお聞かせください。

(具体的に:(例)経営関連分野や知的所有権なども勉強しておくべきだった)

8. 勉学以外で、卒業後に役立ったと思われることを選択してください。

また、自由に記述してください。

①友人関係 ②寮生活 ③課外活動 ④自由な時間

⑤その他 ( )

質問は以上です。ご協力どうもありがとうございました。

(Forms で作成。アドレス・QR コードは依頼文書及びセンターホームページに掲載)

## 【専攻科修了生】令和5年度福井工業高等専門学校専攻科修了生対象アンケート

1. 福井高専専攻科を修了した年を選択してください。

- ①令和2年3月
- ②令和3年3月
- ③令和4年3月

2. 修了専攻(学科系)を選択してください。

- ①生産システム工学専攻(機械系) ②生産システム工学専攻(電気系)
- ③生産システム工学専攻(電子情報系) ④環境システム工学専攻(物質系)
- ⑤環境システム工学専攻(環境都市系)

3. 修了後の進路を選択してください。

- ①就職(企業) ②就職(官公庁) ③進学(大学院博士前期課程(修士課程))
- ④その他( )

4. 現在の身分に○を付けてください。

- ①職業人 ②学生(大学院博士前期課程) ⑤学生(大学院博士後期課程) ⑥専門学校生 ⑦その他( )

5-1. 福井高専専攻科で受けた授業カリキュラムの中で、あなたが修了するとき、以下A～Gの能力が実際に身についていたと思いますか。4段階で評価してください。

- A : 「地球的視点から多面的に物ごとを考える能力」
- B : 「技術者倫理を意識して考える力」
- C : 「数学・自然科学・情報技術に関する能力」
- D : 「ものづくり・環境づくり能力」
- E : 「技術者に求められる基礎的なデザイン能力」
- F : 「コミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力」
- G : 「実践的能力と論理的思考能力」

### 【対応する科目】

- A : 生命進化論などの人文社会系科目及び地球環境などの専門共通科目
- B : 技術者倫理
- C : 工業数理、現代数学論、地球物理、量子力学、連続体力学、物質科学、生物学、ものづくり情報工学、画像情報処理、工学演習
- D : 専門展開科目（選択科目）

**E** : デザイン工学、創造デザイン演習

**F** : 現代英語、技術者英語コミュニケーション演習、工学演習、特別研究

**G** : 工学実験、インターンシップまたは海外インターンシップ、技術者総合ゼミナール、特別研究

【関連する能力】

**A** : 複眼的視点、情報収集、情報分析、言語処理、非言語処理

**B** : 公共心、規範意識、責任感

**C** : 工学基礎、情報収集、情報分析、非言語処理

**D** : 分野横断思考、専門基礎

**E** : 課題発見、情報収集、情報分析、計画立案

**F** : 言語処理、非言語処理、感情抑制

**G** : 計画立案、原因追及、自己理解、統率力、協働力、親和力

5-2 前の**A～G**のうち、福井高専を修了してから特に役に立ったと思われるものを3つ選択してください。

6. 福井高専専攻科で受けた教育に対して、良かったと思う点を設備なども含めて聞かせてください。(具体的に:(例)実験実習が充実していたなど)

7. 福井高専専攻科で受けた教育に対して、改善したほうがよいと思われる点を設備なども含めて率直にお聞かせください。

(具体的に:(例)経営関連分野や知的所有権なども勉強しておくべきだった)

8. 専攻科における勉学以外で、専攻科修了後に役立ったと思われることを選択してください。

また、自由に記述してください。

①友人関係 ②寮生活 ③課外活動 ④自由な時間

⑤その他 ( )

質問は以上です。ご協力どうもありがとうございました。

(Forms で作成。アドレス・QR コードは依頼文書及びセンターホームページに掲載)

## 【企業・大学】令和5年度福井工業高等専門学校

## 企業様・大学様対象 本校卒業生・修了生アンケート

1. 企業・大学（院）名
  2. 人事ご担当者名
  3. 人事ご担当者連絡先 TEL（アドレスは Forms で収集する）

貴社・貴学へ令和2年4月～令和4年4月までに入社・入学した福井高専卒業生又は専攻科修了生全体の印象についてお答えください。

4. 福井高専本科卒業生又は専攻科修了生の教育達成度についてお聞きします。4段階で評価して○を付けてください。また、不足またはやや不足とお答えになった場合には、具体的な分野を( )内に記載してください。

本科卒業生の場合はA～Gを回答 [十分・ほぼ十分・やや不足・不足]

### 【関連する能力】

- A : 公共心、共感・受容、情報収集、情報分析、言語処理、非言語処理
  - B : 工学基礎、情報収集、情報分析、非言語処理
  - C : 専門基礎・技術
  - D : 課題発見、情報収集、情報分析、計画立案
  - E : 言語処理、非言語処理、感情抑制
  - F : 計画立案、原因追及、自己理解、統率力、協働力、親和力

- A : 「多様な文化や価値観を認識できる能力」が身についていますか。
  - B : 「数学・自然科学に関する能力」が身についていますか。
  - C : 「専門能力」が身についていますか。
  - D : 「技術者に必要なデザインマインド」が身についていますか。
  - E : 「コミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力」が身についていますか。
  - F : 「実践的能力と論理的思考能力」が身についていますか。
  - G : その他、不足している能力についてお書きください

A～Fにおいて「不足」又は「やや不足」とお答えの場合に、具体的な能力を記入してください。

・・・・・・・・・・・・専攻科修了生の場合はH～Oを全て回答・・・・・・・・

[十分・ほぼ十分・やや不足・不足]

【関連する能力】

H：複眼的視点、情報収集、情報分析、言語処理、非言語処理

I：公共心、規範意識、責任感

J：工学基礎、情報収集、情報分析、非言語処理

K：分野横断思考、専門基礎

L：課題発見、情報収集、情報分析、計画立案

M：言語処理、非言語処理、感情抑制

N：計画立案、原因追及、自己理解、統率力、協働力、親和力

H：「地球的視点から多面的に物ごとを考える能力」が身についていますか。

I：「技術者倫理を意識して考える力」が身についていますか。

J：「数学・自然科学・情報技術に関する能力」が身についていますか。

K：「ものづくり・環境づくり能力」が身についていますか。

L：「技術者に求められる基礎的なデザイン能力」が身についていますか。

M：「コミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力」が身についていますか。

N：「実践的能力と論理的思考能力」が身についていますか。

O：その他、不足している能力についてお書きください。

(

)

H～Nにおいて「不足」又は「やや不足」とお答えの場合に、具体的な能力を記入してください。

5 福井高専本科卒業生が卒業時に身に付けるべき能力A～F、福井高専専攻科修了生が修了時に身に付けるべき能力H～Nの能力において、福井高専本科卒業生又は専攻科修了生に特に必要と思われるものを2つ選択してください。

本科卒業生 ( ) ( )

専攻科修了生 ( ) ( )

6 福井高専本科卒業生・専攻科修了生の印象と同時期の新卒採用者全体の印象を4段階で評価して○をつけてください。

|        | 福井高専            | 新卒採用者全体         |
|--------|-----------------|-----------------|
| 基礎学力   | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 |
| 専門基礎学力 | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 |
| 独創的能力  | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 |
| 協調性    | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 |
| 行動力    | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 |
| 表現力    | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 |
| 社交性    | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 |
| 素直さ    | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 |
| 情報処理能力 | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 | 十分・ほぼ十分・やや不足・不足 |

7. 国際社会への対応として、貴社採用時・貴学入学時に期待される語学力(英語)について TOEIC スコアでは何点程度が必要と考えられますか。1つお選びください。

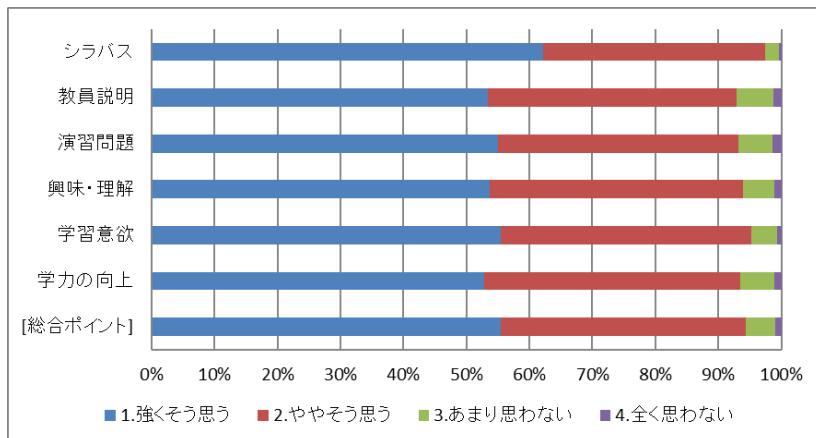
- ①点数は特に必要としない ②400 点程度 ③500 点程度 ④600 点程度
- ⑤700 点以上

8. 最後に、福井高専の全般的な評価やその特色、そして期待についてコメントを頂きたいと存じます。以下に記入して下さい。

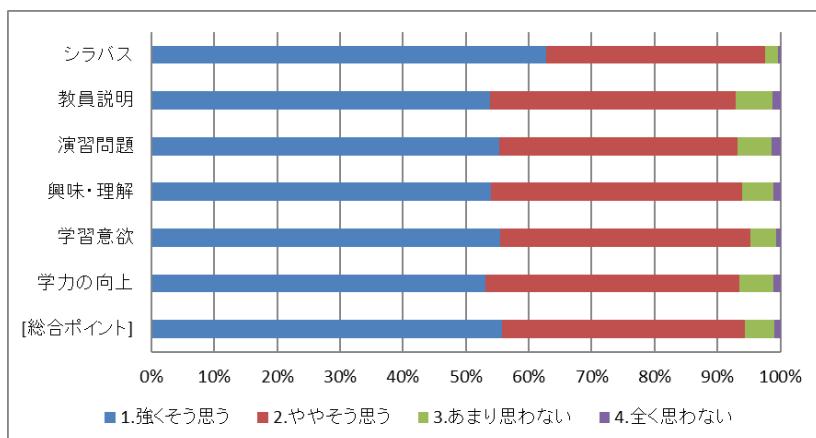
質問は以上です。ご協力どうもありがとうございました。

## 令和5年度前期／通年 授業評価アンケート集計結果について

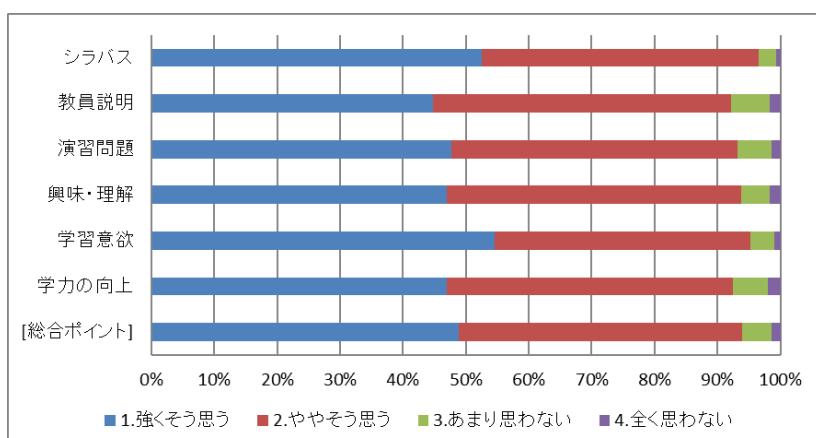
### 【全体】



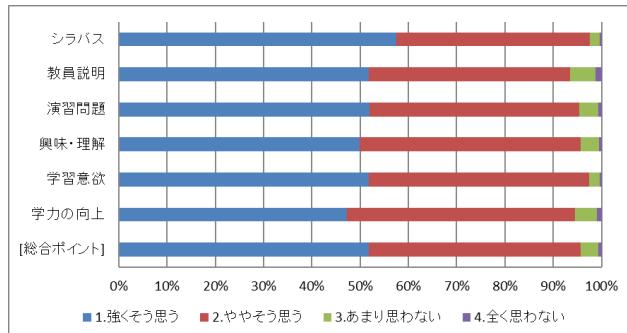
### 【本科】



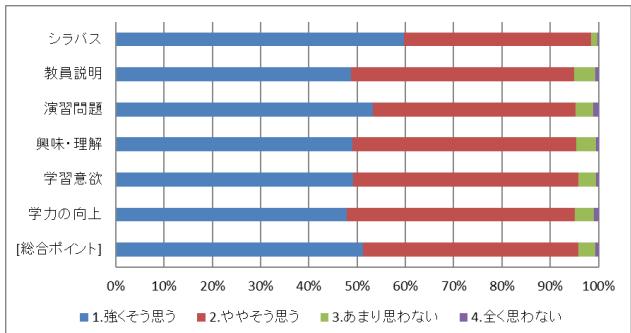
### 【専攻科】



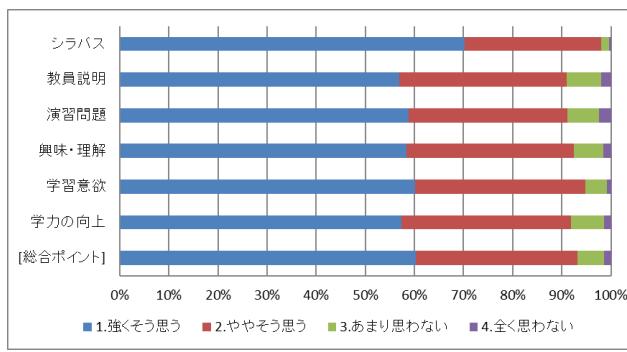
## 【本科 1 年】



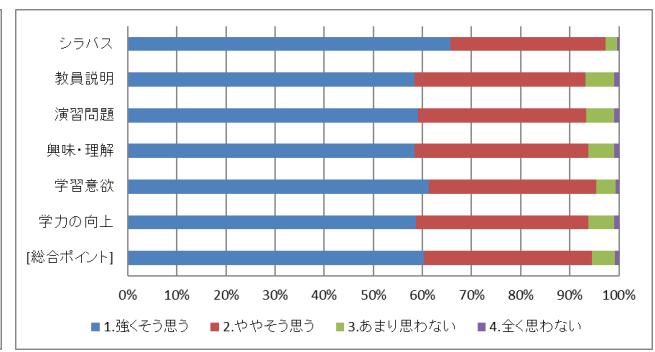
## 【本科 2 年】



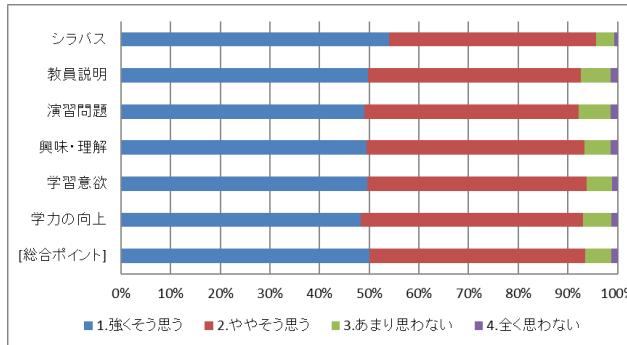
## 【本科 3 年】



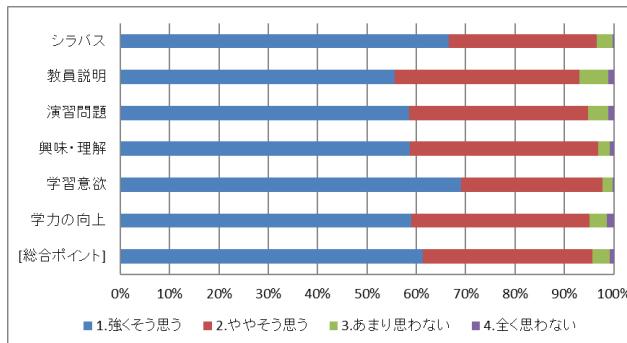
## 【本科 4 年】



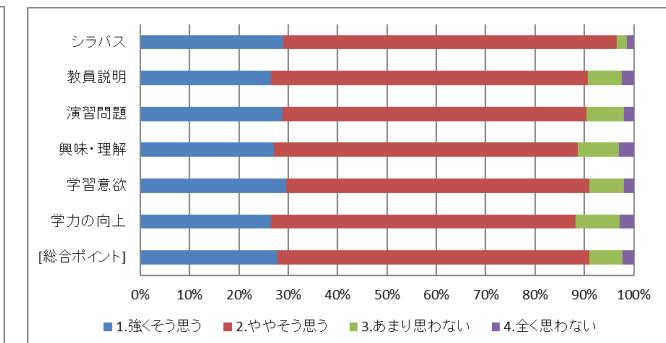
## 【本科 5 年】



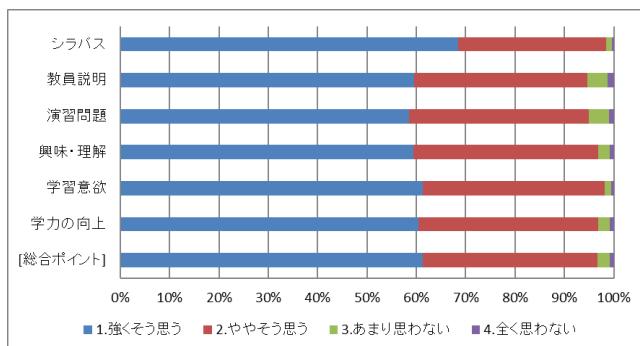
## 【専攻科 1 年】



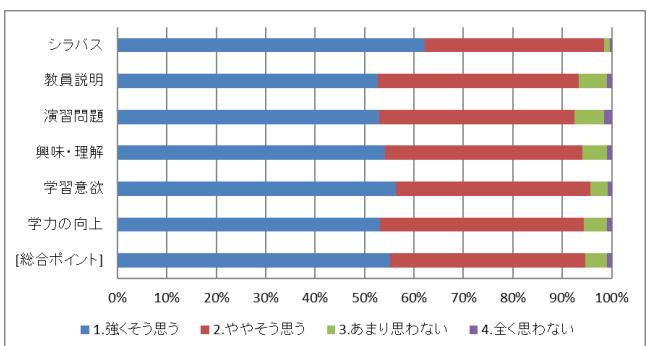
## 【専攻科 2 年】



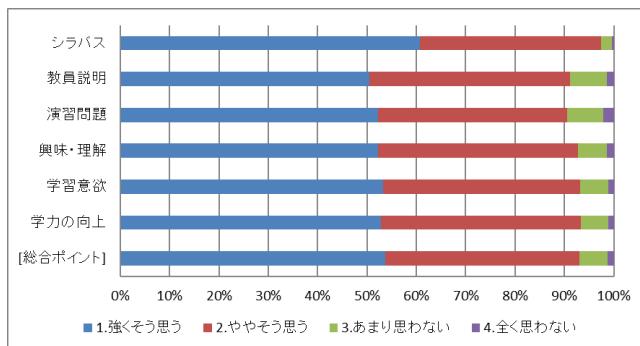
## 【機械工学科】



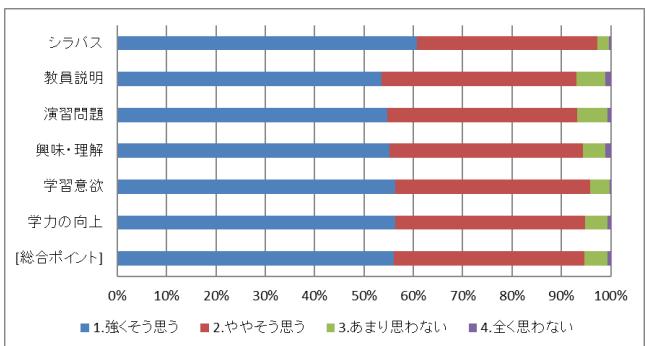
## 【電気電子工学科】



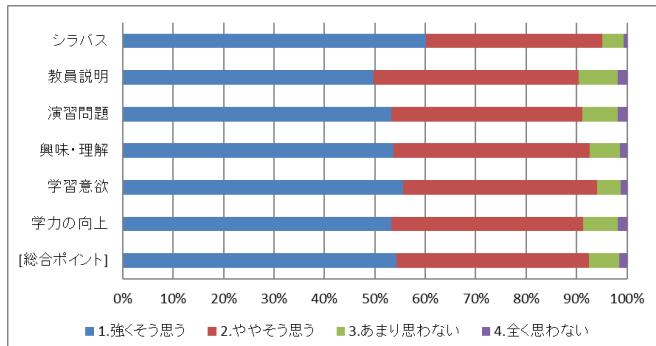
## 【電子情報工学科】



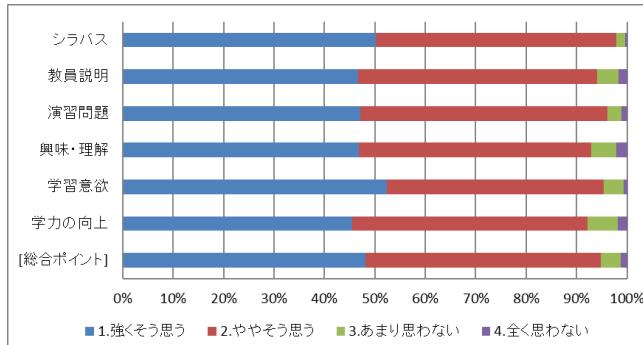
## 【物質工学科】



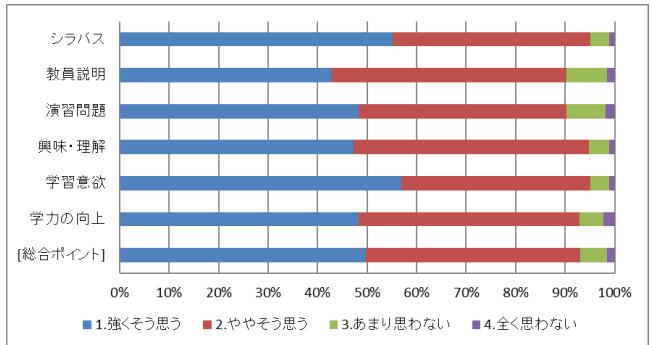
## 【環境都市工学科】



## 【生産システム工学科】

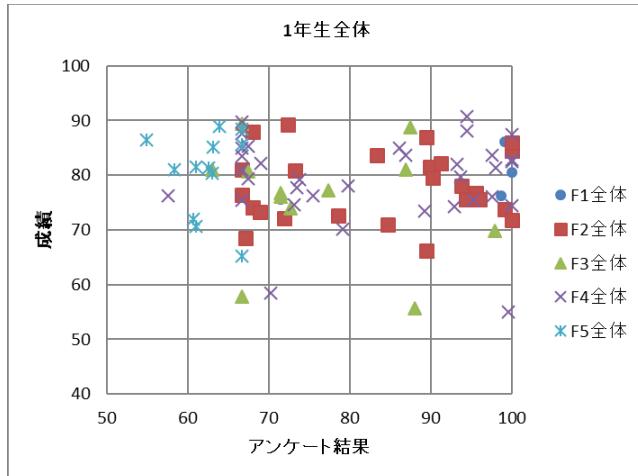


## 【環境システム工学科】

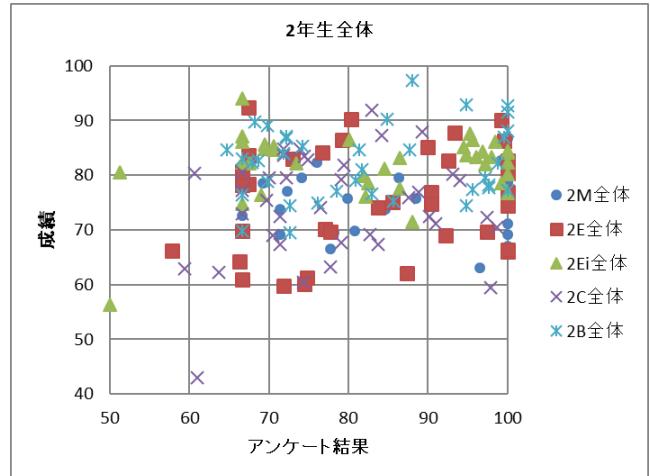


## 令和5年度前期／通年 授業評価アンケートと前期成績との相関について

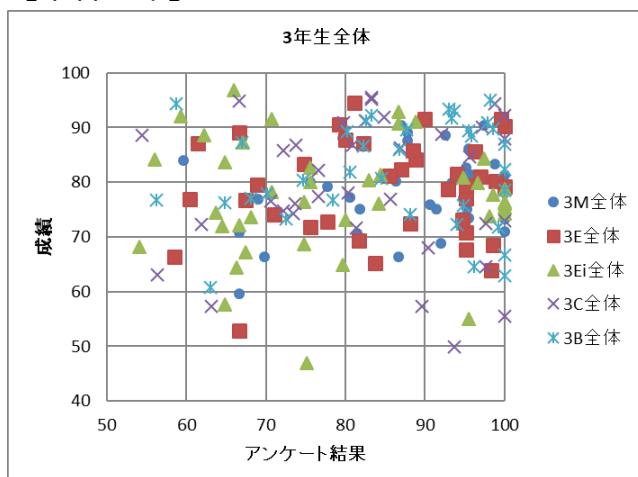
【本科 1 年】



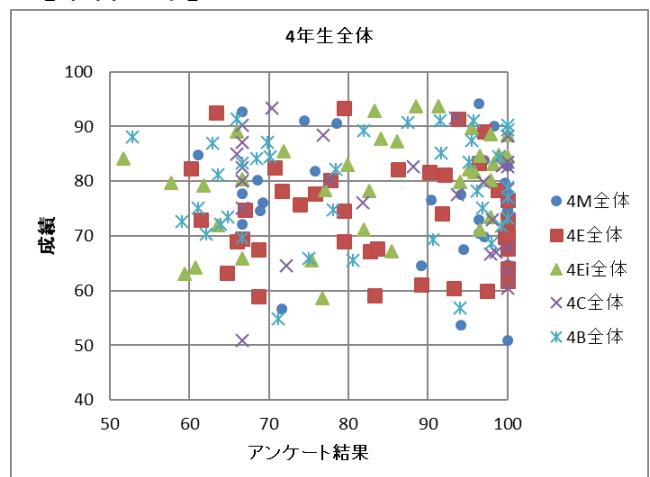
【本科 2 年】



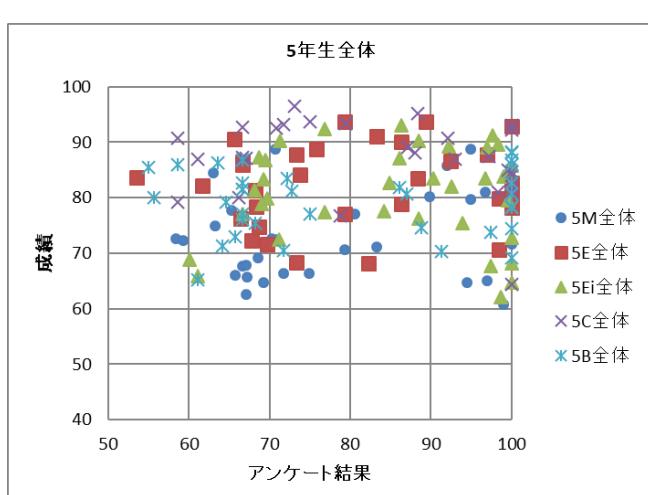
【本科 3 年】



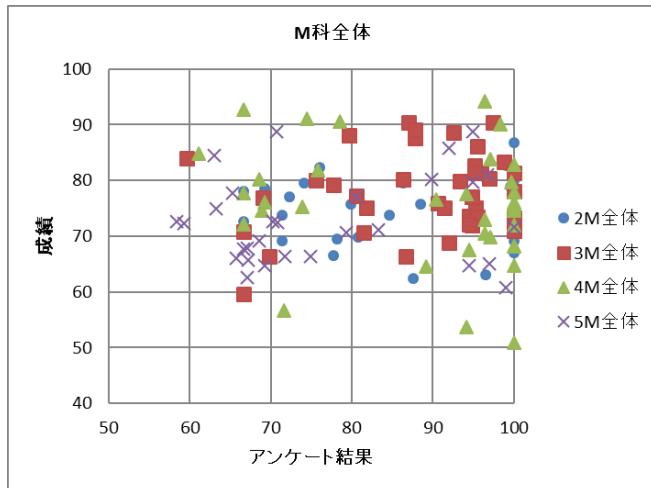
【本科 4 年】



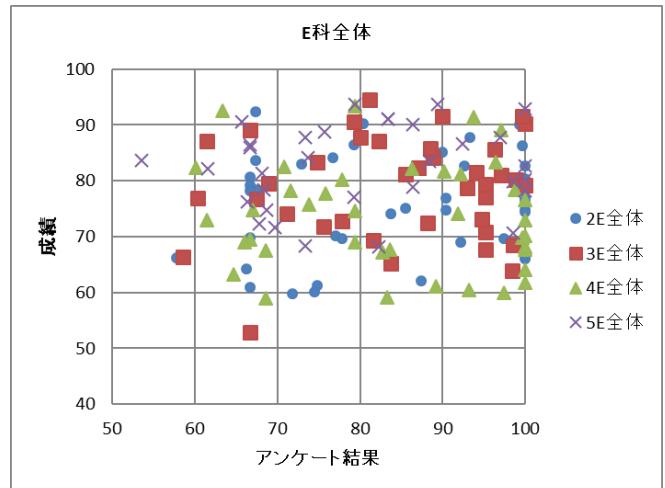
【本科 5 年】



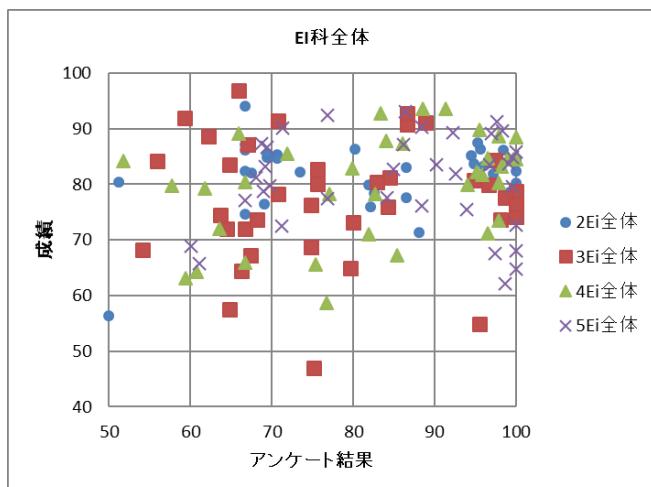
### 【機械工学科】



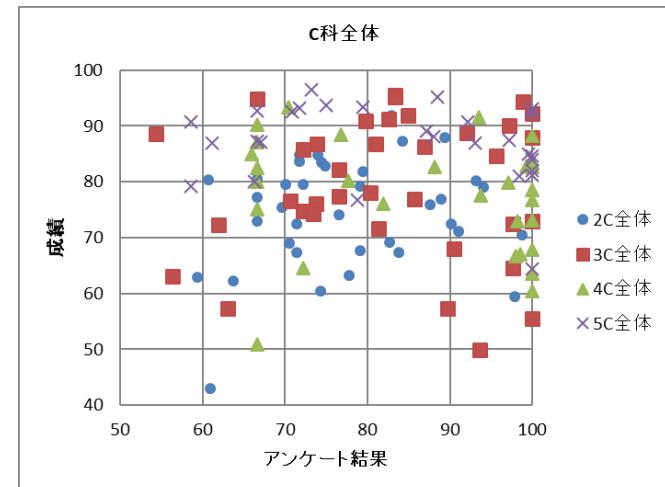
### 【電気電子工学科】



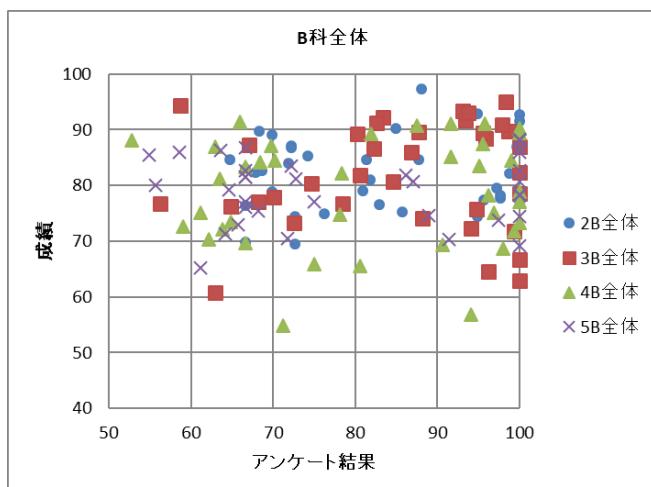
### 【電子情報工学科】



### 【物質工学科】



### 【環境都市工学科】

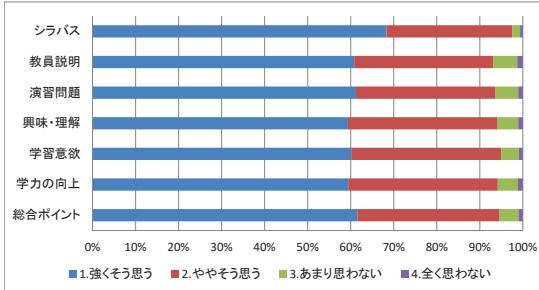


## 全体

### # 令和5年度 後期授業評価アンケート

学年 [']  
学科 [']  
科目 [']  
全体

|        | 1.強くそう思ふ | 2.ややそう思ふ | 3.あまり思わない | 4.全く思わない | ポイント |
|--------|----------|----------|-----------|----------|------|
| シラバス   | 8964     | 3827     | 246       | 82       | 88.4 |
| 教員説明   | 7977     | 4235     | 737       | 170      | 84.2 |
| 演習問題   | 8013     | 4242     | 689       | 139      | 84.6 |
| 興味・理解  | 7714     | 4523     | 624       | 137      | 84.1 |
| 学習意欲   | 7862     | 4555     | 543       | 115      | 84.7 |
| 学力の向上  | 7761     | 4544     | 611       | 148      | 84.2 |
| 総合ポイント | 48291    | 25926    | 3450      | 791      | 85.0 |

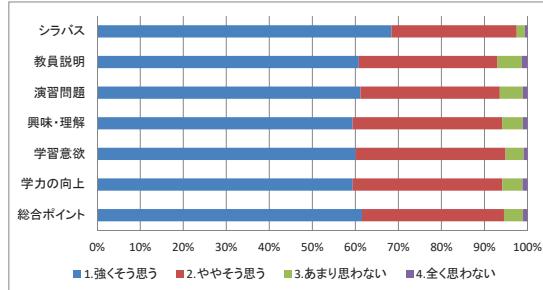


## 本科

### # 令和5年度 後期授業評価アンケート

学年 [本科]  
学科 [']  
科目 [']  
本科

|        | 1.強くそう思ふ | 2.ややそう思ふ | 3.あまり思わない | 4.全く思わない | ポイント |
|--------|----------|----------|-----------|----------|------|
| シラバス   | 8637     | 3679     | 236       | 78       | 88.4 |
| 教員説明   | 7679     | 4072     | 712       | 166      | 84.2 |
| 演習問題   | 7708     | 4078     | 674       | 136      | 84.6 |
| 興味・理解  | 7427     | 4345     | 603       | 134      | 84.1 |
| 学習意欲   | 7561     | 4387     | 525       | 113      | 84.7 |
| 学力の向上  | 7469     | 4371     | 592       | 144      | 84.1 |
| 総合ポイント | 46481    | 24932    | 3342      | 771      | 85.0 |

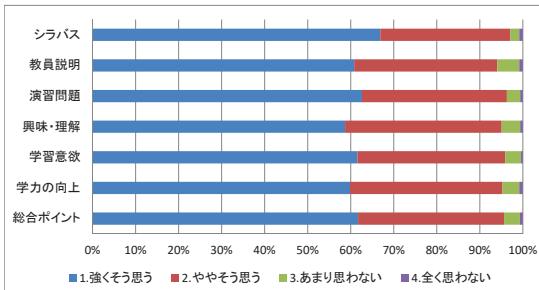


## 専攻科

### # 令和5年度 後期授業評価アンケート

学年 [専攻科]  
学科 [']  
科目 [']  
専攻科

|        | 1.強くそう思ふ | 2.ややそう思ふ | 3.あまり思わない | 4.全く思わない | ポイント |
|--------|----------|----------|-----------|----------|------|
| シラバス   | 327      | 148      | 10        | 4        | 87.7 |
| 教員説明   | 298      | 163      | 25        | 4        | 84.7 |
| 演習問題   | 305      | 164      | 15        | 3        | 86.1 |
| 興味・理解  | 287      | 178      | 21        | 3        | 84.4 |
| 学習意欲   | 301      | 168      | 18        | 2        | 85.7 |
| 学力の向上  | 292      | 173      | 19        | 4        | 84.8 |
| 総合ポイント | 1810     | 994      | 108       | 20       | 85.6 |

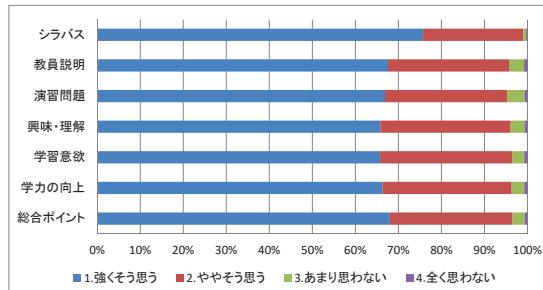


## 本科1年

### # 令和5年度 後期授業評価アンケート

学年 [本科1年]  
学科 [']  
科目 [']  
本科1年

|        | 1.強くそう思ふ | 2.ややそう思ふ | 3.あまり思わない | 4.全く思わない | ポイント |
|--------|----------|----------|-----------|----------|------|
| シラバス   | 1979     | 608      | 17        | 8        | 91.5 |
| 教員説明   | 1763     | 737      | 88        | 20       | 87.6 |
| 演習問題   | 1746     | 743      | 103       | 18       | 87.2 |
| 興味・理解  | 1714     | 789      | 84        | 18       | 87.1 |
| 学習意欲   | 1712     | 802      | 71        | 19       | 87.2 |
| 学力の向上  | 1729     | 782      | 77        | 19       | 87.3 |
| 総合ポイント | 10643    | 4461     | 440       | 102      | 88.0 |



## 本科2年

# 令和5年度 後期授業評価アンケート

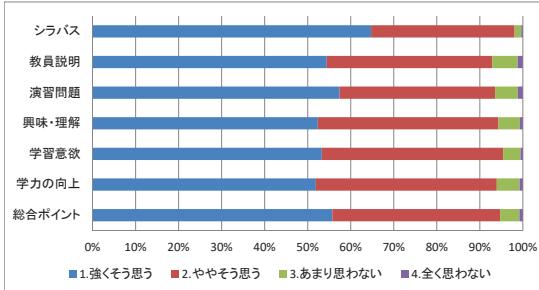
学年 [本科2年]

学科 ["]

科目 ["]

本科2年

|        | 1.強くそう思ふ | 2.ややそう思ふ | 3.あまり思わない | 4.全く思わない | ポイント |
|--------|----------|----------|-----------|----------|------|
| シラバス   | 1836     | 946      | 44        | 10       | 87.5 |
| 教員説明   | 1543     | 1091     | 166       | 34       | 82.1 |
| 演習問題   | 1606     | 1012     | 148       | 32       | 83.3 |
| 興味・理解  | 1425     | 1143     | 135       | 19       | 82.0 |
| 学習意欲   | 1491     | 1179     | 113       | 15       | 82.7 |
| 学力の向上  | 1451     | 1175     | 148       | 21       | 81.7 |
| 総合ポイント | 9352     | 6546     | 754       | 131      | 83.2 |



## 本科3年

# 令和5年度 後期授業評価アンケート

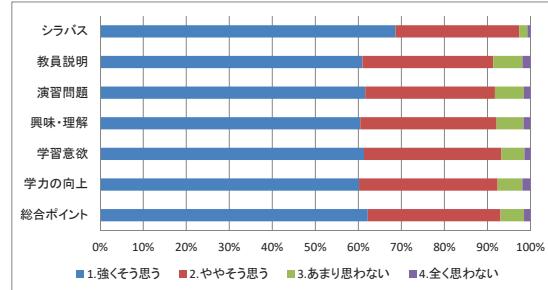
学年 [本科3年]

学科 ["]

科目 ["]

本科3年

|        | 1.強くそう思ふ | 2.ややそう思ふ | 3.あまり思わない | 4.全く思わない | ポイント |
|--------|----------|----------|-----------|----------|------|
| シラバス   | 1916     | 803      | 53        | 20       | 88.4 |
| 教員説明   | 1705     | 850      | 190       | 52       | 83.5 |
| 演習問題   | 1724     | 844      | 189       | 42       | 83.9 |
| 興味・理解  | 1691     | 886      | 175       | 45       | 83.7 |
| 学習意欲   | 1715     | 894      | 149       | 39       | 84.4 |
| 学力の向上  | 1682     | 901      | 161       | 52       | 83.6 |
| 総合ポイント | 10433    | 5178     | 917       | 250      | 84.6 |



## 本科4年

# 令和5年度 後期授業評価アンケート

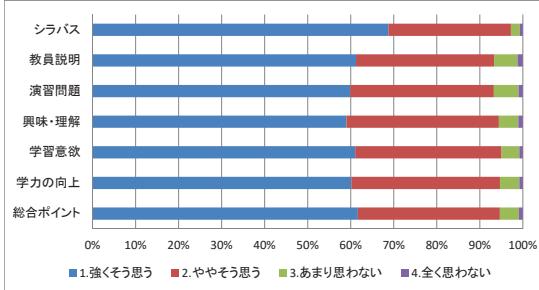
学年 [本科4年]

学科 ["]

科目 ["]

本科4年

|        | 1.強くそう思ふ | 2.ややそう思ふ | 3.あまり思わない | 4.全く思わない | ポイント |
|--------|----------|----------|-----------|----------|------|
| シラバス   | 1863     | 772      | 56        | 19       | 88.4 |
| 教員説明   | 1661     | 870      | 148       | 33       | 84.5 |
| 演習問題   | 1627     | 907      | 156       | 27       | 84.1 |
| 興味・理解  | 1602     | 962      | 123       | 28       | 84.1 |
| 学習意欲   | 1658     | 924      | 112       | 22       | 85.1 |
| 学力の向上  | 1632     | 937      | 122       | 22       | 84.7 |
| 総合ポイント | 10043    | 5372     | 717       | 151      | 85.1 |



## 本科5年

# 令和5年度 後期授業評価アンケート

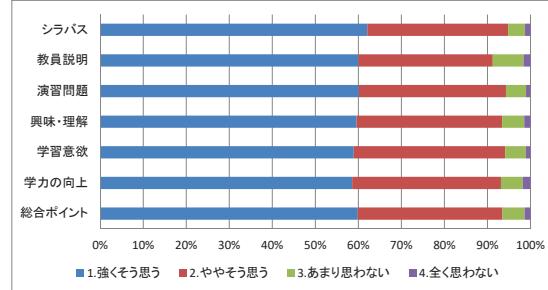
学年 [本科5年]

学科 ["]

科目 ["]

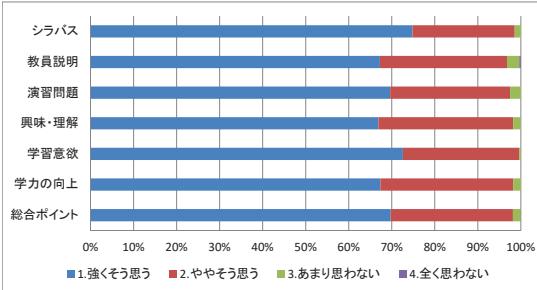
本科5年

|        | 1.強くそう思ふ | 2.ややそう思ふ | 3.あまり思わない | 4.全く思わない | ポイント |
|--------|----------|----------|-----------|----------|------|
| シラバス   | 1043     | 550      | 66        | 21       | 85.2 |
| 教員説明   | 1007     | 524      | 120       | 27       | 83.2 |
| 演習問題   | 1005     | 572      | 78        | 17       | 84.5 |
| 興味・理解  | 995      | 565      | 86        | 24       | 83.9 |
| 学習意欲   | 985      | 588      | 80        | 18       | 84.0 |
| 学力の向上  | 975      | 576      | 84        | 30       | 83.3 |
| 総合ポイント | 6010     | 3375     | 514       | 137      | 84.0 |



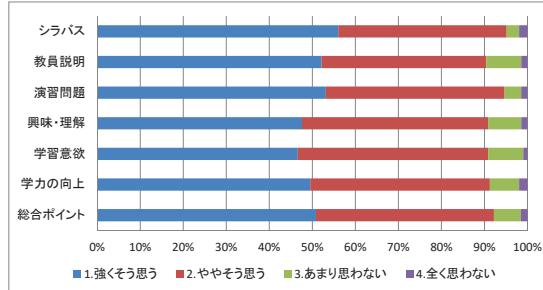
## 専攻科1年

| # 令和5年度 後期授業評価アンケート                |         |     |    |        |  |  |  |  |
|------------------------------------|---------|-----|----|--------|--|--|--|--|
| 学年                                 | [専攻科1年] |     |    |        |  |  |  |  |
| 学科                                 | [ ]     |     |    |        |  |  |  |  |
| 科目                                 | [ ]     |     |    |        |  |  |  |  |
| 専攻科1年                              |         |     |    |        |  |  |  |  |
| 1.強くそう思 2.ややそう思 3.あまり思 4.全く思わ ポイント |         |     |    |        |  |  |  |  |
| シラバス                               | 211     | 67  | 4  | 0 91.1 |  |  |  |  |
| 教員説明                               | 189     | 83  | 8  | 1 87.9 |  |  |  |  |
| 演習問題                               | 195     | 78  | 7  | 0 89.0 |  |  |  |  |
| 興味・理解                              | 188     | 88  | 5  | 0 88.4 |  |  |  |  |
| 学習意欲                               | 204     | 76  | 1  | 0 90.7 |  |  |  |  |
| 学力の向上                              | 190     | 87  | 5  | 0 88.5 |  |  |  |  |
| 総合ポイント                             | 1177    | 479 | 30 | 1 89.3 |  |  |  |  |



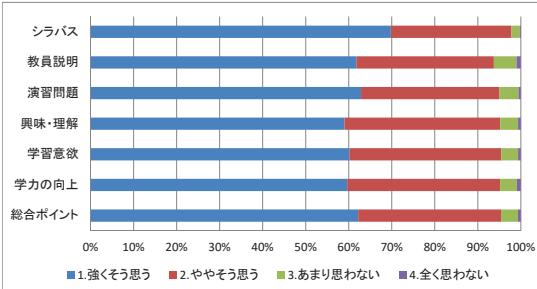
## 専攻科2年

| # 令和5年度 後期授業評価アンケート                |         |     |    |         |  |  |  |  |
|------------------------------------|---------|-----|----|---------|--|--|--|--|
| 学年                                 | [専攻科2年] |     |    |         |  |  |  |  |
| 学科                                 | [ ]     |     |    |         |  |  |  |  |
| 科目                                 | [ ]     |     |    |         |  |  |  |  |
| 専攻科2年                              |         |     |    |         |  |  |  |  |
| 1.強くそう思 2.ややそう思 3.あまり思 4.全く思わ ポイント |         |     |    |         |  |  |  |  |
| シラバス                               | 116     | 81  | 6  | 4 83.1  |  |  |  |  |
| 教員説明                               | 109     | 80  | 17 | 3 80.4  |  |  |  |  |
| 演習問題                               | 110     | 86  | 8  | 3 82.1  |  |  |  |  |
| 興味・理解                              | 99      | 90  | 16 | 3 79.0  |  |  |  |  |
| 学習意欲                               | 97      | 92  | 17 | 2 78.8  |  |  |  |  |
| 学力の向上                              | 102     | 86  | 14 | 4 79.6  |  |  |  |  |
| 総合ポイント                             | 633     | 515 | 78 | 19 80.5 |  |  |  |  |



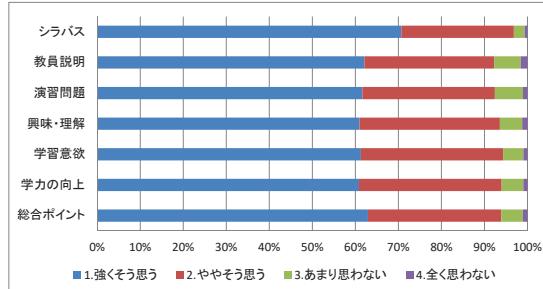
## 機械工学科

| # 令和5年度 後期授業評価アンケート                |         |      |     |         |  |  |  |  |
|------------------------------------|---------|------|-----|---------|--|--|--|--|
| 学年                                 | [機械工学科] |      |     |         |  |  |  |  |
| 学科                                 | [ ]     |      |     |         |  |  |  |  |
| 科目                                 | [ ]     |      |     |         |  |  |  |  |
| 機械工学科                              |         |      |     |         |  |  |  |  |
| 1.強くそう思 2.ややそう思 3.あまり思 4.全く思わ ポイント |         |      |     |         |  |  |  |  |
| シラバス                               | 1447    | 581  | 40  | 5 89.1  |  |  |  |  |
| 教員説明                               | 1282    | 663  | 109 | 21 84.8 |  |  |  |  |
| 演習問題                               | 1306    | 668  | 92  | 21 85.8 |  |  |  |  |
| 興味・理解                              | 1226    | 752  | 86  | 13 84.5 |  |  |  |  |
| 学習意欲                               | 1250    | 733  | 81  | 13 85.0 |  |  |  |  |
| 学力の向上                              | 1238    | 738  | 81  | 19 84.6 |  |  |  |  |
| 総合ポイント                             | 7749    | 4135 | 489 | 82 85.7 |  |  |  |  |



## 電気電子工学科

| # 令和5年度 後期授業評価アンケート                |           |      |     |          |  |  |  |  |
|------------------------------------|-----------|------|-----|----------|--|--|--|--|
| 学年                                 | [電気電子工学科] |      |     |          |  |  |  |  |
| 学科                                 | [ ]       |      |     |          |  |  |  |  |
| 科目                                 | [ ]       |      |     |          |  |  |  |  |
| 電気電子工学科                            |           |      |     |          |  |  |  |  |
| 1.強くそう思 2.ややそう思 3.あまり思 4.全く思わ ポイント |           |      |     |          |  |  |  |  |
| シラバス                               | 1498      | 554  | 53  | 14 89.0  |  |  |  |  |
| 教員説明                               | 1317      | 640  | 131 | 33 84.3  |  |  |  |  |
| 演習問題                               | 1309      | 654  | 139 | 22 84.3  |  |  |  |  |
| 興味・理解                              | 1293      | 692  | 110 | 26 84.4  |  |  |  |  |
| 学習意欲                               | 1302      | 702  | 100 | 20 84.9  |  |  |  |  |
| 学力の向上                              | 1291      | 704  | 107 | 20 84.6  |  |  |  |  |
| 総合ポイント                             | 8010      | 3946 | 640 | 135 85.3 |  |  |  |  |



## 電子情報工学科

# 令和5年度 後期授業評価アンケート

学年 [~]

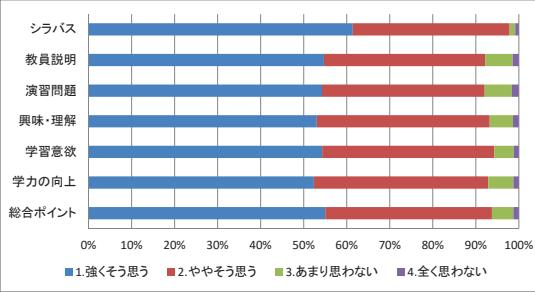
学科 [電子情報工学科]

科目 [~]

電子情報工学科

1.強くそう思ふ 2.ややそう思ふ 3.あまり思ふ 4.全く思ふ ポイント

|        |      |      |     |     |      |
|--------|------|------|-----|-----|------|
| シラバス   | 1329 | 789  | 28  | 18  | 86.2 |
| 教員説明   | 1181 | 809  | 138 | 31  | 81.8 |
| 演習問題   | 1171 | 816  | 136 | 35  | 81.6 |
| 興味・理解  | 1145 | 867  | 117 | 29  | 81.6 |
| 学習意欲   | 1171 | 863  | 97  | 26  | 82.5 |
| 学力の向上  | 1128 | 873  | 126 | 27  | 81.3 |
| 総合ポイント | 7125 | 5017 | 642 | 166 | 82.5 |



## 物質工学科

# 令和5年度 後期授業評価アンケート

学年 [~]

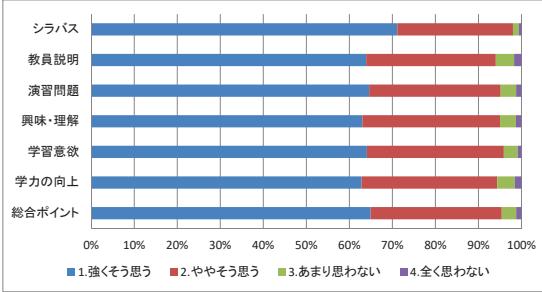
学科 [物質工学科]

科目 [~]

物質工学科

1.強くそう思ふ 2.ややそう思ふ 3.あまり思ふ 4.全く思ふ ポイント

|        |      |      |     |     |      |
|--------|------|------|-----|-----|------|
| シラバス   | 1376 | 520  | 26  | 12  | 89.5 |
| 教員説明   | 1234 | 582  | 82  | 33  | 85.4 |
| 演習問題   | 1247 | 590  | 69  | 24  | 86.2 |
| 興味・理解  | 1216 | 617  | 71  | 25  | 85.6 |
| 学習意欲   | 1236 | 614  | 62  | 17  | 86.4 |
| 学力の向上  | 1209 | 607  | 78  | 30  | 85.2 |
| 総合ポイント | 7518 | 3530 | 388 | 141 | 86.4 |



## 環境都市工学科

# 令和5年度 後期授業評価アンケート

学年 [~]

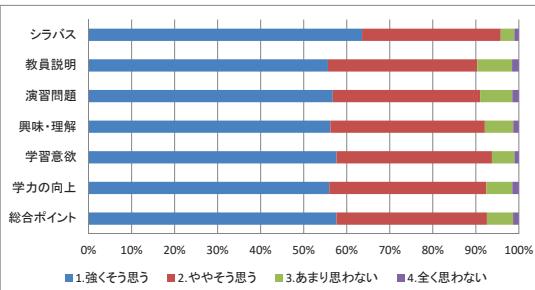
学科 [環境都市工学科]

科目 [~]

環境都市工学科

1.強くそう思ふ 2.ややそう思ふ 3.あまり思ふ 4.全く思ふ ポイント

|        |      |      |     |     |      |
|--------|------|------|-----|-----|------|
| シラバス   | 1455 | 738  | 72  | 24  | 86.1 |
| 教員説明   | 1277 | 797  | 185 | 36  | 81.5 |
| 演習問題   | 1282 | 773  | 169 | 34  | 82.1 |
| 興味・理解  | 1225 | 783  | 144 | 28  | 82.3 |
| 学習意欲   | 1300 | 815  | 118 | 23  | 83.5 |
| 学力の向上  | 1261 | 823  | 136 | 34  | 82.3 |
| 総合ポイント | 7800 | 4729 | 824 | 179 | 83.0 |



## 生産システム工学専攻

# 令和5年度 後期授業評価アンケート

学年 [~]

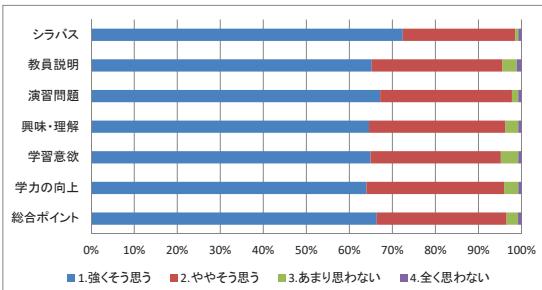
学科 [生産システム工学]

科目 [~]

生産システム工学専攻

1.強くそう思ふ 2.ややそう思ふ 3.あまり思ふ 4.全く思ふ ポイント

|        |      |     |    |    |      |
|--------|------|-----|----|----|------|
| シラバス   | 197  | 71  | 2  | 2  | 90.1 |
| 教員説明   | 178  | 83  | 9  | 3  | 86.6 |
| 演習問題   | 182  | 83  | 4  | 2  | 88.1 |
| 興味・理解  | 175  | 86  | 8  | 2  | 86.7 |
| 学習意欲   | 176  | 82  | 11 | 2  | 86.5 |
| 学力の向上  | 174  | 87  | 9  | 2  | 86.4 |
| 総合ポイント | 1082 | 492 | 43 | 13 | 87.4 |



## 環境システム工学専攻

# 令和5年度 後期授業評価アンケート

学年 [□]

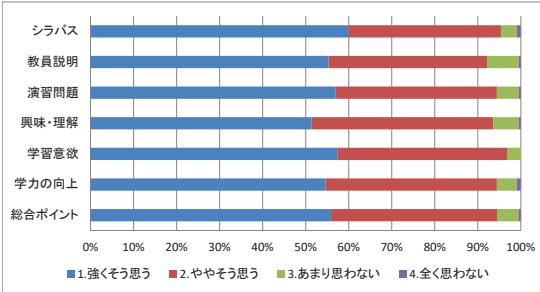
学科 [環境システム工学]

科目 [□]

環境システム工学専攻

1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.あまり思わない 4.全く思わない ポイント

|        |     |     |    |   |      |
|--------|-----|-----|----|---|------|
| シラバス   | 130 | 77  | 8  | 2 | 84.8 |
| 教員説明   | 120 | 80  | 16 | 1 | 82.3 |
| 演習問題   | 123 | 81  | 11 | 1 | 83.6 |
| 興味・理解  | 112 | 92  | 13 | 1 | 81.5 |
| 学習意欲   | 125 | 86  | 7  | 0 | 84.7 |
| 学力の向上  | 118 | 86  | 10 | 2 | 82.7 |
| 総合ポイント | 728 | 502 | 65 | 7 | 83.3 |



発行日 令和6年6月10日

編 集 独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校  
創造教育開発センター

発 行 独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校  
〒916-8507 福井県鯖江市下司町

TEL : 0778-62-1118 <https://www.fukui-nct.ac.jp/>